

記 述

昭和九年

茨城縣統計書第二編

學事ノ部

管内學事ノ狀況

總 說

本縣ニ於ケル學事施設ノ狀況ハ大體從來ノ方針ニ基キ施設經營ノ歩ヲ進メ之ガ發達進歩ヲ期シツ、アリト雖時勢ノ推移ニ伴ヒ教育振興上尙改善ヲ必要トスル所アルヲ認メ初等教育、師範教育、實業教育、社會教育等夫々内容ノ刷新充實ヲ圖リ其ノ實績ヲ收メムコトニ努メタリ即チ兒童ノ増加ニ伴ヒ地勢ノ事情ト市町村財政トヲ參酌シ教育資金ノ貸付、基本財産ノ繰入ニ夫々便宜ヲ與ヘ以テ校地ノ擴張、校舍ノ増改築、教授用器具器械等ノ設備ノ改善充實ヲ圖リツ、アリ、又教員講習會、研究會、協議會ヲ開催シ教職員ノ素質ノ改善ト資格ノ向上學力技能ノ修練トニ努メツ、アリ而シテ之ガ監督指導ヲ周到ナラシムル爲學事指導員ヲ囑託シ中等教育及初等教育ノ指導獎勵ニ當ラシメ尙教員俸給並年功加俸ノ増額、疾病療治料ノ給與、功勞者ノ表彰ヲ行ヒ教員優遇ノ實ヲ舉ゲムコトニ努メタリ

社會教育ノ普及發達ヲ圖ラムガ爲圖書館又ハ巡回文庫ノ設置ヲ獎勵シ展覽會、講話會、講習會ヲ開催セシメ青年團ニ就キテハ國民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨ヲ恪遵シ内務文部兩大臣ノ訓令ニ基キ本縣ノ實狀ニ鑑ミ智德ノ練磨ト體育ノ向上トヲ圖リ日進ノ大勢ニ遅レザラムコトヲ期シツ、アリ尙補習教育ノ發達ニ順應シテ益々善良ナル氣風ヲ養成スルト共ニ思想ノ善導ヲ圖ラムガ爲各地ニ於テ青年幹部講習會、處女講習會等ヲ開催シ青年訓練所ニ在リテハ常ニ精神ノ修養ト身體ノ鍛練トニ意ヲ用ヒ兵營ノ參觀、行軍、演習見學等ヲナシ其ノ歸趣ヲ過ラシメザルコトニ努メタリ、少年團ニ於テハ常ニ學校職員指導ヲナシ火防宣傳、公德箱ノ設置等共同一致ノ精神、公德心ノ養成ニ努メ、成人教育ニ關シテモ名士ヲ聘シ各種階級者ヲ網羅シ年々之ガ施設ヲナシツ、アリ更ニ學校教育ト社會教育乃至ハ實業界トノ連絡ニ關シテハ常ニ其ノ交渉ヲ密接ナラシメ互ニ裨補提携シテ其ノ事業ノ振興ヲ圖ラシメツ、アリ又視學打合會、各學校長會、其ノ他學事關係職員會ヲ開催シテ學事上ノ施設監督、指導等ニ關スル指示協議ヲナシ苟モ遺漏ナカラシムルコトニ努メタリ

本年度内ニ於テ學事ニ關シ令達シタルモノヲ列舉スレバ次ノ如シ

縣 令

錦修寮管理規則 中改正
幼稚園令施行細則 中改正

(昭和九年四月十二日)
(縣令第一四號)
(昭和九年九月二十八日)
(縣令第二六號)

小學校令施行規則實施規程中改正
茨城縣立商業學校學則中改正
小學校令施行規則實施規程中改正
茨城縣立高等女學校學則中改正

(昭和九年十月三十一日)
(縣令第二九號)
(昭和十年二月十二日)
(縣令第七號)
(昭和十年三月二十二日)
(縣令第一〇號)
(昭和十年三月二十二日)
(縣令第一一號)

訓 令

尋常小學校卒業者等ノ動向ニ關スル調査事項報告方ノ

(昭和十年三月十九日)
(縣訓令甲第九號)

告 示

久慈郡佐原尋常高等小學校位置變更
筑波郡蒨間尋常高等小學校位置變更
小學校教員試驗檢定施行
昭和九年度巡回書庫開設
昭和九年度夏季文庫開設
茨城縣國民精神文化講習所規程
久慈郡金砂尋常高等小學校上宮河内分教場位置變更
筑波郡小田村學區廢止並ニ之ニ伴フ財産處分
東海高等女學校授業料額並ニ入學考查料額
茨城縣古河實科高等女學校位置變更
小學校教員臨時試驗檢定施行
稻敷郡本新島村西代尋常小學校及上須田尋常小學校ヲ
東寧尋常高等小學校ニ併合
珂那嶺鄉尋常高等小學校瀛子分教場位置變更

(昭和九年四月四日)
(縣告示第一五七號)
(昭和九年四月二十八日)
(縣告示第二一五號)
(昭和九年四月三十日)
(縣告示第二二六號)
(昭和九年五月二十五日)
(縣告示第三二一號)
(昭和九年七月十三日)
(縣告示第四一五號)
(昭和九年七月二十日)
(縣告示第四三〇號)
(昭和九年九月四日)
(縣告示五一〇號)
(昭和九年九月十四日)
(縣告示第五三二號)
(昭和九年九月二十一日)
(縣告示第五三六號)
(昭和九年十月五日)
(縣告示第五六〇號)
(昭和九年十二月四日)
(縣告示第六六八號)
(昭和九年十二月七日)
(縣告示第六七二號)
(昭和九年十二月十四日)
(縣告示第六八七號)

學 齡 兒 童

學齡兒童ノ總數ハ三十萬九千百三十五人ニシテ内男十五萬五千六百五十六人女十五萬三千四百七十九人ナリ之ヲ前年ニ對比スレバ男千七百六十六人女千四百五十八人ヲ増加セリ、而シテ就學兒童總數ハ二十六萬七千四百四十七人ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ男八百五十五人女千三十一人ヲ増加シタリ、就學始期ニ達シタル學齡兒童ニ對スル就學歩合ヲ觀ルニ男九十九人六分三厘女九十九人四分七厘平均九十九人五分五厘ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ男五厘女七厘平均ニ於テ六厘ノ増加ヲ示セリ就學及出席ノ督勵ニ關シテハ常ニ法規並ニ通牒ノ定ムル所ニ依リ或ハ町村吏員、學校職員、學務委員ヲ督勵シ缺席及不就學兒童ノ家庭ヲ訪問シ專ラ勸誘ニ當ラシムルト共ニ學齡兒童

保護會、町村教育會、保護者會、少年團等ノ活動ヲ促シ或ハ部落相互兒童ノ出席督勵ニ從事セシムル等各種機關ヲ通ジ之ガ實行ニ努メツ、アリ、就學ノ猶豫免除ノ處分ヲ了シタルモノ、大部分ハ其ノ原因疾病不具者ニシテ貧困ニ原因スル者少ク之等貧困兒童ノ救済ニ關シテハ兒童就學獎勵規程ヲ設定シ各市町村ヲシテ相當經費ノ支出ヲナサシメ縣ニ於テモ補助金ヲ交付シ救済方法ノ徹底ヲ圖ルト共ニ就學出席ノ督勵ニ努力シツ、アリ就學猶豫並ニ免除者ヲ種別スレバ次表ノ如シ

		市			町			村			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
疾 病	猶豫	9	6	15	52	46	98	121	99	220	182	151	333
	免除	1	3	4	17	27	44	87	82	169	105	112	217
貧 困	猶豫	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1	—	1
	免除	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	猶豫	9	6	15	52	46	98	122	99	221	183	151	334
	免除	1	3	4	17	27	44	87	82	169	105	112	217

學齡兒童ノ調査ニ關シテハ隨時吏員ヲ市町村ニ派シ戸籍簿、學齡簿、學籍簿、出席簿其ノ他就學事務ノ檢閲ヲ行ヒ指示及注意ヲ與ヘ努メテ帳簿ト實際トノ致一ヲ圖ラシメムコトニ努メタリ尙小學校令第三十六條第一項ノ但書ニ依ルモノ、内師範學校附屬小學校ニ於テ修業スル者ハ男三百八十二人女四百三人ニシテ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者男三十八人女三十七人アリ

小 學 校

小學校ハ市町村立尋常小學校百二十九校、分教場五校、尋常高等小學校四百二校、分教場百十一校、計六百四十七校ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ尋常小學校ニ於テ三校尋常高等小學校ニナリ一校廢止セラレ尋常小學校分教場一校尋常高等小學校分教場トナル學校ノ設備ニ在リテハ年々督勵ノ結果漸次完備ニ達セムトシツ、アルモ教育ノ進展ト逐年兒童ノ増加トニ伴ヒ校舍ノ増築改築、校地ノ擴張、教授用具ノ充實ヲ要スルモノ尙尠カラズ市町村立小學校ノ學級ハ尋常科四千四百十二學級高等科九百六十五學級補習科一學級計五千三百七十八學級ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ九十八學級ヲ増加セリ而シテ其ノ編制タルヤ尋常科ハ單學級ヨリ四十二學級ニ至ル内最多ナルハ六學級ニシテ十二學級之ニ亞ギ高等科ハ單學級ヨリ十八學級迄ニシテ内最多ナルハ二學級ニシテ單學級之ニ亞ゲリ又制限超過編制ヲナスモノハ尋常高等小學校ニ於テ二十六學級一校、二十七學級二校、二十八學級三校、二十九學級一校、三十學級一校、三十一學級一校、三十二學級一校、三十四學級一校、三十五學級一校、三十九學級一校、四十學級一校、四十二學級二校、四十八學級一校、五十學級一校ナリ

學校配置ノ狀況ハ概シテ適當ノ位置ニ在リ而シテ地方交通ノ發達ト共ニ兒童ノ通學

道路ヲ改修シ又ハ學校敷地ノ位置變更ヲナス等常ニ努メツ、アルヲ以テ通學上著シキ不便ヲ認メズ

補習科ノ設置シアルハ尋常高等小學校一校ニシテ前年ニ比シ増減ナシ加設科目ハ尋常小學校ニ於テ手工ヲ課スモノ七十四校同分教場三校計七十七校尋常高等小學校ニ於テ尋常高等兩科共課シ尋常科手工高等科英語ヲ課スルモノ二十校分教場一校計二十一校尋常科ノミ手工ヲ課スルモノ二百八十三校同分教場六十八校計三百七十二校ニシテ總計四百四十九校ニ及ビ孰レモ該科加設ノ目的ニ從ヒ内容ノ改善ヲ圖リツ、アリ

教員ノ需要供給ニ關スル縣内小學校ノ教員充實歩合ヲ示セバ次表ノ如シ

學 級 別	男 女 別	本科正教員	専科正教員	准 教 員	代用教員	計	學級ニ對スル 本科正教員ノ 充實歩合
5.378	男	3,384	254	352	273	4,263	82.80
	女	1,069	296	111	211	1,687	
	計	4,453	550	463	484	5,950	

上表ノ如ク本科正教員ハ四千四百五十三人ニシテ學級數五千三百七十八學級ニ比シ八十二人八分強ノ配當ニ當ル而シテ教員ノ不足竝ニ其ノ素質ノ良否ガ兒童教育上ニ及ボス影響頗ル甚大ナルヲ以テ常ニ指導訓練ニ努力シ本科正教員ノ充實向上ニ努メ縣教育會又ハ郡教育會ヲシテ現教員ニ對シ夏季及冬季ニ於テ資格向上養成講習會ヲ開催シ資格ノ向上ト相俟テ素質ノ向上ニ努メ又ハ試験ノ上正教員免許狀ヲ授與シタルト毎年定期ニ小學校教員檢定試験ヲ施行シ資格ノ向上ヲ計リ需要供給ノ圓滑ヲ計リツ、アリ

幼 稚 園

幼稚園ハ公立七、私立十五ナリ設備ノ狀況ニ關シ記述スレバ公立中市立ニ係ルモノハ獨立シ町村立ニ係ルモノハ小學校ニ附屬シアリ年々之ガ改善充實ニ努メツ、アルヲ以テ完備ノ域ニ達シツ、アルモ私立ニアリテハ尙設備ノ改善充實ノ急ヲ要スルモノ尠カラズト認ム、保育狀況ニ關シテモ常ニ保姆ノ研究視察ヲ行ヒ改善ヲ圖リツ、アルヲ以テ良好ナル成績ヲ收ツメ、アリ、幼兒數ハ男七百八十人女八百十五人ヲ收容シ保姆有資格二十八人無資格三十一人ニシテ保姆一人ニ對シ保育兒童平均二十七人強ニ當ル入園志願者ハ一千五百五十五人ニシテ前年ヨリ相當増加シタリ

師 範 學 校

師範學校ハ縣立二校ニシテ其ノ設備ニ就テハ年々増改築ヲ行ヒ器具器械標本等モ逐

年購入シ整備ニ努メツ、アルモ尙改善補充ヲ要スルモノアリ
 教員ノ需要供給勸續轉免等ニ關シテハ孰レモ勸續多年ニ亘リツ、アリト雖多少ノ異
 動アルヲ免カレズ然レトモ其ノ都度補充ハ極メテ圓滑ニ有資格者ノ任用ヲ見ツ、ア
 リ待遇ニ關シテハ俸給平均額教諭千二百四十五圓、訓導七百九十二圓ニシテ年功加俸
 ハ教諭二百一圓乃至九十六圓、訓導百七十九圓乃至三十六圓ヲ支給シ待遇ノ途ヲ講シ
 ツ、アリ

有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員										無 資 格 教 員	總 計						
	教員養成ノ 目的ヲ以テ 設置シタル 官立學校卒 業者	無 試 驗 檢 定 = 依 ル モ ノ						試驗檢定 = 依ル者	計									
		文部大臣 ノ指定シ タル者	文部大臣 ノ許可シ タル者	高等學校 高等科免 許狀ヲ有 スル者	實業學校 教員免許 狀ヲ有ス ル者	其ノ他 ノ經歷 = 依ル 者												
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
茨城縣師範學校	11 △ 1	—	8	—	4	—	—	—	—	—	3	—	26 △ 1	—	△ 1 ×△ 5	—	26 △ 2 ×△ 3	—
茨城縣女子師範 學校	4	4	5 × 3	1	× 1	—	—	—	—	—	1 × 2	1	10 × 6	7	×△ 2	—	10 × 6 ×△ 2	7
計	15 △ 1	4	13 × 3	1	4 × 1	—	—	—	—	—	1 × 2	1	36 △ 1 × 6	7	△ 1 ×△ 5	—	36 △ 2 × 6 ×△ 5	7

×印ハ兼務者 △印ハ囑託講師

生徒訓育ニ就キテハ教育ニ關スル勅語ノ御趣旨ヲ奉戴シ大體從來ノ方針ニ則リ學校
 長及教員ハ必要アル毎ニ訓誨ヲ與ヘ生徒ノ自覺修養ヲ促シ校風ノ樹立ヲ圖リ常ニ思
 想ノ善導ニ留意スルハ勿論各學科教授ノ際機會アル毎ニ教育者タル品性ノ陶冶ニ努
 メ以テ其ノ信念ヲ鞏固ニシ且體育方面ニ於テモ從來ノ施設ヲ一層徹底的ニ自覺的ニ
 實行セシメ身體ノ鍛練ト健康ノ増進トヲ圖リツ、アリ生徒教練ノ狀況ハ本科第一部
 第五學年生徒ノ夏季二週間同第四學年及第二部生徒ノ冬季一週間ノ軍事講習ハ共ニ
 心身ノ修練ニ資シ軍事ノ理解ニ利シ其ノ成績特ニ顯著ナルヲ認ム又生徒ニ於テモ良
 ク其ノ趣旨ヲ理解シ校風振作上ニ良好ナル影響ヲ與ヘツ、アリ

生徒ノ學業ニ就テハ自學自習、自發的活動ニ訴ヘテ研究的態度ヲ養成シ寄宿舎圖書室
 ハ勿論學科教室ニモ參考書ヲ備ヘ隨時研究ニ意ヲ注ギ實驗實習ヲ重ンジ特ニ課外研
 究ノ制ヲ設ケ實地見學ヲセシメ以テ實際的智識技能ヲ啓培シ興味ト努力トヲ喚起ス
 ル様指導シツ、アルヲ以テ學業進步ノ跡見ルヘキモノアリ

修學旅行ハ地理歷史理化其ノ他人情風俗ニ關スル一切ノ實地踏査博物植物ノ採取觀
 察ノ目的ヲ以テ關西關東東北ノ各方面ニ旅行シ又ハ縣下ニ於ケル重要個所ヲ踏査シ
 學校ノ參觀、礦物地質ノ研究、史蹟調查ヲ行ヒ特ニ郷土ノ研究ニ關シテハ郷土館郷土園
 ヲ設置シ研究ニ資シ豫定ノ目的ヲ達成シ其ノ效果ヲ大ニ收メタリ

入學志願者ハ女子師範學校ノ第二部生ヲ募集セザル結果八百九十一人ニシテ前年ニ

比シ稍減少シタルモ之ガ入學率ハ十九人強ノ狀況ニアリ昭和五年度以降ノ入學志願者ヲ示セバ次表ノ如シ

	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度
茨城縣師範學校	第一部 517 第二部 452 專攻科 28	第一部 403 第二部 262 專攻科 31	第一部 288 第二部 351 專攻科 82	第一部 257 第二部 341 專攻科 35	第一部 296 第二部 385 專攻科 45
茨城縣女子師範學校	第一部 302 第二部 157 專攻科 5	第一部 236 第二部 102 專攻科 11	第一部 181 第二部 — 專攻科 6	第一部 181 第二部 85 專攻科 7	第一部 162 第二部 — 專攻科 5
合 計	第一部 819 第二部 699 專攻科 33	第一部 639 第二部 364 專攻科 42	第一部 469 第二部 351 專攻科 38	第一部 438 第二部 426 專攻科 42	第一部 453 第二部 383 專攻科 5

入學者父兄ノ職業別ハ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自由業	家 事 使用人	其ノ他ノ 有業者	無 職 業	計
茨城縣師範學校	第一部 23 第二部 47 專攻科 22	— — —	— — —	I I I	2 — 1	— — —	7 9 11	— — —	— — —	7 3 3	40 60 32
茨城縣女子師範學校	第一部 14 第二部 — 專攻科 —	— — —	— — —	— — —	6 — 3	— — —	10 — 2	— — —	— — —	— — —	30 — 5
合 計	第一部 37 第二部 47 專攻科 22	— — —	— — —	1 1 1	8 — 4	— — —	17 9 13	— — —	— — —	7 3 3	70 60 43

本年度卒業者ハ師範學校本科第一部八十四人第二部六十人專攻科三十八人女子師範學校本科第一部五十八人第二部二十八人專攻科六人ニシテ内男子師範學校ニ於テ東京美術學校入學一人女子師範學校ニ於テ專攻科入學一人病氣ノ爲就職セザルモノ一人、他ハ何レモ縣下各小學校ニ就職シタリ

附屬小學校ハ二校ニシテ其ノ設備ニ就テハ年々改善ノ結果稍完備ノ域ニ達シツ、アリ兒童ノ教育ニ關シテハ大體從來ヨリノ方針ヲ繼承シ教授ハ實力養成ヲ主眼トシテ智識技能ヲ確實ニ收得セシメ自學自習ノ態度ヲ養成スルニ努メ教授學習ノ徹底ヲ期セシメタリ尙現今ノ教育學說ヲ斟酌シ教授法ノ改善ニ努ムルト共ニ兒童心身ノ發達ト衛生的方面ニ留意シ品性陶冶ニ努メ家庭トノ連絡ニ就テハ保護者會ノ活動ヲ促シ機會アル毎ニ來校セシメ又ハ家庭ヲ訪問シ雜誌ヲ發行シ印刷物ヲ配付シ通信ヲナス等協力的ニ兒童教養ニ努メツ、アリ又教員ハ地方諸會合ニ講師トシテノ招聘ニ應ジ主事及訓導ハ講演或ハ實施指導ニ出張シ又ハ地方ヨリ來觀スルモノ一層増加ノ傾向ニアリ尙縣下各小學校ノ聯合教育研究會ヲ開催シ種々ノ共同研究指導ヲナス外青年會處女會ノ講習講話等ニモ出張スル等社會教育方面ニモ貢獻シツ、アリ

中 學 校

中學校ハ縣立十校私立一校ニシテ其ノ設備ノ狀況ハ年々改善充實ヲ圖リツ、アルヲ以テ校舍及教授用器具器械等漸次整備ノ域ニ達シツ、アリ
教員ノ需要供給勤續轉免等ニ關シテハ異動者比較的少ク供給ハ過剩ノ狀態ニアリ補充容易ニシテ極メテ圓滑ニ有資格教員ヲ採用シツ、アリ本年度俸給額ハ教諭千二百七十八圓ニシテ年功加俸ハ二百一圓乃至九十六圓ヲ支給シツ、アリ有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別人員ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員										無 資 格 教 員	總 計		
	教員養成ノ 目的ヲ以テ 設置シタル 官立學校卒 業者	無 試 驗 檢 定ニ依ルモノ				其ノ他 ノ 經 歷 ニ 依 ル モ ノ	試驗檢定 ニ 依 ル モ ノ	計						
		文部大臣 ノ 指 定 シ タル者	文部大臣 ノ 許 可 シ タル者	高等學校 免狀ヲ有 スル者					實業學校 免狀ヲ有 スル者					
				男	女				男	女				男
茨城縣立水戸中 學 校	6 △ 2 × 1	—	3 △ 1	—	8 △ 3	—	2	—	—	—	8 △ 6 × 1	—	27 △ 6 × 1	29 △ 9 × 1
茨城縣立太田中 學 校	6 × 1	×△1	2 △ 1	—	4	—	1	—	—	3	3 △ 1	—	19 △ 2 × 1	19 △ 7 ×△1
茨城縣立土浦中 學 校	3	×△1	9 × 1	—	1	—	—	2	—	1	5 △ 1	—	21 △ 1 × 1	22 △ 3 ×△1
茨城縣立下妻中 學 校	5 △ 1	—	3	—	8	—	1	—	—	—	5 × 1	—	22 △ 1 × 1	23 △ 4 × 1
茨城縣立龍ヶ崎 中 學 校	8 × 1	—	3	—	4	—	—	1	—	—	3 △ 1	—	19 △ 1 × 1	19 △ 2 × 1
茨城縣立水海道 中 學 校	4 △ 1 × 1	—	4	—	4 × 1	—	—	—	—	—	4 △ 1 × 2	—	16 △ 1 × 2	16 △ 2 × 2
茨城縣立鉾田中 學 校	8 × 1	—	2 △ 1	—	1	—	—	—	—	—	6 △ 1 × 1	—	17 △ 1 × 1	17 △ 2 × 1
茨城縣立日立中 學 校	7 × 1	—	2 △ 1	—	2	—	—	—	—	—	5 △ 1 × 1	—	16 △ 1 × 1	16 △ 3 × 1
茨 城 縣 立 境 中 學 校	6 × 1 ×△1	—	4	—	1	—	—	—	—	—	2 × 1 ×△1	—	13 × 1 ×△1	13 × 1 ×△2
茨城縣立麻生中 學 校	2 × 1	—	2 △ 1	—	4	—	—	—	—	1	2 △ 1 × 1	—	11 △ 1 × 1	11 △ 3 × 1

學 校 名	有 資 格 教 員												無 資 格		總 計		
	教員養成ノ 目的ヲ以テ 設置シタル 官立學校卒 業者		無 試 驗 檢 定		ニ 依 ル モ ノ		其ノ他 ノ經歷 ニ依ル モノ		試驗檢定 ニ依ルモ ノ		計		教 員				
	文部大臣 ノ指定シ タル者		文部大臣 ノ許可シ タル者		高等學校 免狀ヲ有 スル者		實業學校 教員免許 狀ヲ有ス ル者										
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
私立茨城中學校	4 △ 1	—	3 × 1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	3	—	11 △ 1 × 1 × 2	4 △ 3 × 1 × 2	15 △ 4 × 1 × 2
計	69 △ 5 × 8 × 1	—	37 △ 5 × 1 × 1	—	37 △ 3 × 1	—	4	—	4	—	5	—	46 △ 3 × 1	—	192 △ 16 × 11 × 2	8 △ 23 × 1 × 11	200 △ 39 × 12 × 13

×印ハ兼務者△印ハ講師

生徒ノ訓育ニ就テハ從來ノ方針ニ則リ品性ノ陶冶ニ努メ華奢輕薄ノ風ヲ去リ質實剛健ノ氣風ヲ涵養シ義務責任ヲ重ンジ實踐ヲ督勵シ思想ノ善導ニ就キテハ常ニ世態ノ風潮ニ省ミ深甚ナル考慮ヲ拂ヒ生徒ノ性癖ヲ知悉シ教員ノ示範誘導ヲ行ヒ家庭トノ連絡協調ニ留意シ服裝容儀ニ於テモ訓育上ノ影響甚大ナルヲ以テ常ニ注意シ訓育施設ノ統一ヲ圖ルト共ニ徹底ニ努メ萬遺憾ナキヲ期シツ、アリ

生徒教練ノ實施ニ際シテハ銳意其ノ目的ノ達成ニ努メ心身ノ發達及素質ヲ顧慮シ低學年ニハ規律心ヲ高學年ニハ自治協同心ヲ涵養スル如ク着意シ特ニ修身科ノ教授及一般訓育ニ連繫シ之ガ實現ヲ期シツ、アルヲ以テ多大ノ效果ヲ收メタルモノト認ム生徒學業ニ關シテハ教授ノ改善進步ヲ圖リ圖書器械標本器具ヲ購入シ且自學自習ノ趣味ヲ涵養シ以テ平素ノ勉學ヲ獎勵スルト共ニ夏季冬季ノ休暇ヲ利用シ特別教授ヲ施シ尙學業不進ノ生徒ニハ特別復習教授ヲナス等學力ノ向上ニ努メ又體育獎勵ニ就テモ常ニ意ヲ用ヒ身體各部ノ圓滿ナル發達ヲ圖リタル結果相當其ノ效果ヲ收得シタルモノト認ム

本年度入學志願者ハ千八百二十人ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ千三百一人ナリ之ガ入學率ハ七十一人強ニシテ昭和五年度以降ノ入學志願者ヲ示セバ次ノ如シ

年 度	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度
本 科	1,934	1,689	1,778	1,765	1,820

入學者父兄ノ職業別ヲ示セバ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自由業	家 事 使用人	其ノ他ノ 有業者	無 職 業	計
茨城縣立水戸中學校	26 × 4	2	—	28 × 1	26 × 2	5	90 * 2 × 10	—	2	13 * 2 × 7	192 * 4 × 24
茨城縣立太田中學校	74 × 2 △ 2	2	—	10 △ 1	17 × 1 △ 1	—	40 * 2 × 3	—	—	7 × 1	150 * 2 × 7 △ 4

學 校 名	農 業	水産業	礦 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自由業	家 事 使用人	其ノ他 ノ有業 者	無職業	計
茨城縣立土浦中學校	47 × 1	1	—	10	29 × 1	4	51 * 1 × 4	—	—	10 × 1	152 * 1 × 7
茨城縣立下妻中學校	67 × 2	—	—	14	19	1	46 * 1 × 1	—	1 × 1	7	155 * 1 × 4
茨城縣立龍ヶ崎中學校	65 × 1	—	—	10	19 × 1	6	31 * 1 × 2	—	—	3 * 1	134 * 2 × 4
茨城縣立水海道中學校	42 × 1	—	—	6	18	2	28 * 1	—	—	4 × 1	100 * 1 × 2
茨城縣立鉾田中學校	45 △ 1 ○ 2	—	—	6	13 × 1	1	26 □ 1	—	—	4	95 □ 1 ○ 2 × 1 △ 1
茨城縣立日立中學校	26 × 2	2	12	13 * 1 × 2	20 × 2	3	23 * 1 × 1	—	—	7 × 1	106 * 2 × 8
茨城縣立境中學校	31 × 2	—	—	1	7 × 2	2	11 * 1 × 1	—	—	—	52 * 1 × 5
茨城縣立麻生中學校	25	—	—	4	12	1	10	—	—	2	54
私 立 茨 城 中 學 校	20 × 3 △ 1 ○ 10	—	—	4 ○ 1	25 × 1 ○ 2	○ 1	30 * 1 × 5 △ 1 ○ 10	—	—	4 × 1 ○ 2	83 * 1 × 10 △ 2 ○ 26
計	463 × 18 △ 4 ○ 12	7	12	106 × 3 △ 1 ○ 1 * 1	205 × 11 △ 1 ○ 2	25 ○ 1	386 × 27 △ 1 ○ 10 * 11 □ 1	—	3 × 1	61 × 12 ○ 2 * 3	1,273 × 72 △ 7 ○ 28 * 15 □ 1

×印ハ第二學年以上へ轉入學者、*印ハ第一學年へ轉入學者、△印ハ再入學者、○印ハ補缺入學者、□印ハ第一學年ニ再入學者

中學校生徒將來ニ於ケル希望ノ狀況ニ就テハ時代ノ趨勢ニ伴ヒ上級學校ノ入學ヲ希望スルモノ多ク卒業後直ニ實業ニ就カムトスル者年々減少ノ傾向ニアリ第四、五學年生ノ希望狀況ヲ示セバ別表ノ如シ

私立中學校ノ設備ニ就テハ銳意之ガ整備充實ニ努メ教授用器具器械ハ勿論校具ニ於テモ内容ノ完備ニ努力ヲ拂ヒタル結果現今ニ於テハ教授上何等支障ナキニ至レリ生徒ノ訓育ニ就テハ水戸學ノ精神ヲ以テ經トシ報恩感謝ノ精神ヲ緯トシ教職員一致協力訓育ニ努メツ、アルヲ以テ其ノ成績モ逐年向上シツ、アリ特ニ配屬將校ヲ生徒監トシテ甚大ナル注意ヲ拂ヒツ、アリ

生徒學業ニ就テハ教員ノ熱心ナル教授ニ依リ生徒ニ於テモ自學自習ニ努メツ、アル

ヲ以テ上級學校ノ入學率ハ非常ニ良好ニシテ學業進歩ノ跡大イニ認ムヘキモノアリ

高等女學校

高等女學校ハ縣立六校、市立一校、組合立一校、私立一校ニシテ實科高等女學校ハ町立五校、組合立三校、私立一校ナリ、其ノ設備ニ就テハ各校共年々之ガ充實ニ努メ作法、裁縫、割烹室ノ改善、其ノ他圖書器械器具等ノ購入等ヲナシ着々完備ノ域ニ達シツ、アルモ尙町村立、私立ニ在リテハ改善補充ヲ要スルモノ尠カラズ

教員ノ需要供給勤續轉免ニ關シテハ一般ニ異動少ク退職者アル毎ニ有資格教員ノ任用ヲ見極メテ圓滑ニ運ビツ、アリ待遇ノ狀況ハ縣立及市立ハ良好ナルモ町村立私立ニ在リテハ尙改善ヲ要スル所少カラザルヲ以テ年々向上ニ努メツ、アリ俸給ハ平均額教諭千四十五圓、年功加俸ハ二百四圓乃至六十圓ヲ支給シツ、アリ

有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別人員ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員										無 資 格		總 計		
	教員養成ノ 目的ヲ以テ 設置シタル 官立學校ノ 卒業生		無 試 驗 檢 定 = 依 ル モ ノ		試驗檢定 = 依 ル モ ノ		計		無 資 格		總 計				
	文部大臣ノ 指定シタル 者		文部大臣 ノ認可シ タル者		高等學校 高等科免 許狀ヲ有 スル者		實業學校 教員免許 狀ヲ有ス ル者		其ノ他ノ 經歷ニ依 ル者		試驗檢定 = 依 ル モ ノ		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
茨城縣立水戸 高等女學校	5 ×	1 4	1 1	2 △	5 1	1 —	— —	— —	— 1	1 1	1 ×	1 △	10 12	1 △	12 1
茨城縣立土浦 高等女學校	4 ×	1 3	5 5	1 ×	2 1	5 —	— —	— —	— —	2 2	2 ×	2 13	11 —	— ×	11 2
茨城縣立下館 高等女學校	2 ×	1 3	2 2	— —	— —	6 —	— —	— —	— —	2 1	1 ×	1 6	10 ×	2 △	10 △
茨城縣立水海 道高等女學校	—	1 ×	1 1	— —	3 3	5 —	— —	— —	— —	1 —	— ×	— 5	6 ×	1 △	6 △
茨城縣立龍ヶ 崎高等女學校	2 ×	1 3	1 1	— △	1 1	3 —	— —	— —	— —	2 —	— △	— 1	6 ×	1 △	6 ×
茨城縣立太田 高等女學校	1 ×	1 2	1 1	— —	1 ×	4 △	— —	— —	— —	4 —	— ×	1 7	6 ×	1 ×	6 ×
茨城縣立水戸 第二高等女學 校	3 ×	3 ×	4 ×	3 ×	1 ×	— —	— —	— —	— ×	1 ×	1 ×	3 ×	6 ×	— ×	6 ×
茨城縣水戸市 立高等女學校	3 ×	1 2	3 3	— —	1 1	3 —	— —	— —	— —	2 △	1 ×	9 1	5 △	— ×	5 △
東海高等女學 校	1 ×	—	1 1	— —	2 2	4 —	— —	— —	— —	— —	— ×	3 1	4 ×	— ×	4 1

生徒訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ基キ教育勅語及戊申詔書ノ聖旨ヲ奉戴シ學校ト家庭トノ連絡ヲ保チ道德意識ノ涵養ヲ基礎トシ時代ニ適應スル性格ノ養成ニ努メ情操ノ陶冶ト思想ノ善導ニ留意シ常識ヲ養ヒ一面溫良貞淑ニシテ志操堅實タル婦德ノ養成ニ特ニ力ヲ用ヒツ、アリ

生徒ノ學業ニ就テハ常ニ教材ニ對スル確實ナル理解ヲ與ヘ有效ナル陶冶ヲナサムトシテ自學自習的態度ヲ一層旺盛ナラシメ熱心眞摯ナル研究心ノ養成ニ努メ教授方針ノ確立教授方法ノ研究ヲナシ教室ヲ半特別學科教室トシ自學主義ヲ鼓吹シ特ニ閱覽圖書ノ指導自學研究室ノ設置等改善ヲ加ヘツ、アルヲ以テ進歩ノ跡見ルヘキモノアリ

入學志願者ハ公私立ヲ通ジ二千六百十九人ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ千五百四十五人ナリ之ガ入學率ハ五十九人弱ニ當レリ

本年度入學者父兄ノ職業別ヲ示セバ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自由業	家 事 使用人	其ノ他 ノ有業 者	無 職 業	計
茨城縣立水戸高等女學校	26	1	1	13 * 1	75 × 1	4	71 * 1 × 8	1	—	20 × 1	212 * 2 × 10
茨城縣立土浦高等女學校	77	—	—	15	52	—	57 × 11	—	—	7	205 × 11
茨城縣立下館高等女學校	55	—	3	9	43	1	32	—	—	7	150
茨城縣立水海道高等女學校	37	—	—	3	25 × 1	—	31 × 2	—	—	8	104 × 5
茨城縣立龍ヶ崎高等女學校	53 × 1	—	—	9	20	—	16	—	—	2 × 1	100 × 2
茨城縣立太田高等女學校	37	—	—	8	20 × 1 △ 1	—	36 * 1 × 5	—	—	5	106 * 1 × 6 △ 1
茨城縣立水戸第二高等女學校	12	—	—	2	9	—	19 ● 1	—	—	8	50 ● 1
茨城縣水戸市立高等女學校	7	3	—	14	36	1	28 × 4	—	5	12 × 2	106 × 6
東 海 高 等 女 學 校	13 × 1 ○ 2	1	7	18 * 1 × 1 ○ 2	10 × 1	4	7 × 1	—	—	1 * 1	61 * 2 × 4 ○ 4
私立大成高等女學校	11	—	—	5	19	—	17	—	—	3	55
計	328 × 2 ○ 2	5	11	96 × 1 * 2 ○ 2	309 × 4 △ 1	10	314 × 31 * 2 ● 1	1	5	73 × 4 * 1	1,162 × 42 * 5 △ 1 ● 1 ○ 4
茨城縣石岡實科高等女學校	17	—	—	8	17	2 × 1	6 × 1	—	—	4	54 × 2

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自由業	家 事 使用人	其ノ他 ノ有業 者	無 職 業	計
茨城縣鉾田實科高等女學校	8 × 1 ○ 10	—	—	—	12 ○ 4	1	7 ○ 1	—	—	—	28 × 1 ○ 15
茨城縣古河實科高等女學校	15	—	—	3 × 1	14	3	15	—	—	4 × 1	54 × 2
茨城縣下妻實科高等女學校	38 × 2	—	—	1	9 × 1	—	11	—	—	3 × 3	59 × 6
茨城縣取手實科高等女學校	27 ○ 5 × 1 △ 1	—	—	4	7 ○ 2	—	8	—	—	1 ○ 1	47 ○ 8 × 1 △ 1
茨城縣岩井實科高等女學校	9 ○ 9	—	—	—	2 ○ 2	1 ○ 1	1 ○ 1	—	—	—	13 ○ 13
茨城縣松原實科高等女學校	9 ○ 2	—	1	2	12 ○ 2	1	2 ○ 1	—	—	1	28 ○ 5
茨城縣結城實科高等女學校	27	—	—	1	4 × 1	—	11 × 2	—	—	1	44 × 3
私立好文實科高等女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東海高等女學校(實科)	11 ○ 1	1	1	10 ○ 1	—	—	3	—	—	* 1	26 * 1 ○ 2
計	152 × 4 △ 1 ○ 27	1	2	29 × 1 ○ 1	75 × 2 ○ 10	7 × 1 ○ 1	63 × 3 ○ 3	—	—	11 × 4 * 1 ○ 1	340 × 15 * 1 △ 1 ○ 43
合 計	480 × 6 △ 1 ○ 29	6	13	125 × 2 * 2 ○ 3	384 × 6 △ 1 ○ 10	17 × 1 ○ 1	377 × 34 * 2 ○ 3 ● 1	1	5	84 × 8 * 2 ○ 1	1,492 × 57 * 6 △ 2 ○ 47 ● 1

* 印ハ第一學年轉入學者、× 印ハ第二學年以上ニ係ル轉入學者、△ 印ハ全上ニ係ル再入學者、○ 印ハ補缺入學ヲ許可シタル者、● 印ハ第一學年ニ補缺入學者

私立高等女學校ニアリテハ常ニ設備ノ充實ヲ圖リ年々器具器械標本等ノ購入ヲナス
外教授上萬遺憾ナキヲ期シツ、アリ、教員ノ需要供給轉免其ノ他ニ關シテモ常ニ待遇
ノ途ヲ講ジツ、アルヲ以テ轉任者少ク相當有資格教員ヲ任用シツ、アリ

生徒訓育ニ就テモ教育ニ關スル聖旨ヲ奉戴シ婦徳ノ涵養ニ努メ溫順貞淑親和快活ニ
シテ而モ進ンデ勤勞ニ當ル美風ヲ養ヒ常ニ生徒個性ニ留意シ家庭ノ實情ヲ調査シ善
美ナル校風ノ發揚ヲ促シ以テ實蹟ヲ舉ゲムコトニ努メツ、アリ

生徒學業ニ就テハ教員ノ熱心ナル指導ト生徒ノ自覺發奮トニ依リ進歩著シキモノア
リ常ニ學級單位ノ成績品展覽會ヲ開キ以テ鼓舞獎勵ヲ與ヘ又ハ各教室毎ニ各種辭書
或ハ圖書ヲ設備シ自學自習ヲ獎勵シツ、アルヲ以テ全般ニ研究勉學ノ氣風ノ旺盛ナ
ルモノアリ

實 業 學 校

實業學校ハ總數十八校ニシテ之ヲ設立者別ニスレバ縣立十四校、組合立二校、町立一校、私立一校ナリ尙之ヲ實業學科別ニ區別スレバ工業學校ノ縣立一校、農業學校ハ縣立九校、組合立一校商業學校ハ縣立四校、職業學校ハ組合立一校、町立一校、私立一校ナリ有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別ヲ示セバ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員										無 資 格 教 員		總 計		
	學位ヲ有スル者	大文部大臣ノ指定タル者	大文部大臣ノ認可タル者	高等學校教員免許狀有スル者	師範學校中女學校教員免許狀有スル者	實業學校教員免許狀有スル者	計	公立學校資格二條具備スル者	私立學校一層九層者	其 他					
	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女		男 女	男 女		男 女				
茨城縣立工業學校	— —	1 —	6 1	— —	— —	11 1 △ 1 × △ 1	— —	18 — △ 1 × 1 × △ 1	— —	△ 2 — × △ 1	— —	18 — △ 3 × 1 × △ 2	— —	18 — △ 3 × 1 × △ 2	
茨城縣立水戸農學校	— —	3 1 × 1	7 2 × △ 2	1 1 × △ 1	— —	6 1 △ 1	— 3 △ 1	20 — △ 2 × 1 × △ 3	— —	△ 1 — × △ 2	— —	20 — △ 3 × 1 × △ 5	— —	20 — △ 3 × 1 × △ 5	
茨城縣立石岡農學校	— —	2 —	5 1 △ 1 × 1	— —	— —	1 —	— —	8 — △ 1 × 1	— —	1 — △ 1 × △ 2	— —	9 — △ 2 × 1 × △ 2	— —	9 — △ 2 × 1 × △ 2	
茨城縣立眞壁農學校	— —	— —	7 1 × 1	— —	— —	1 —	2 —	10 — × 1	— —	△ 1 — × △ 2	— —	10 — △ 1 × 1 × △ 2	— —	10 — △ 1 × 1 × △ 2	
茨城縣立江戸崎農學校	— —	1 —	6 1 × 1	— —	— —	2 —	1 —	10 — × 1	— —	△ 1 — × △ 2	— —	10 — △ 1 × 1 × △ 2	— —	10 — △ 1 × 2 × △ 2	
茨城縣立結城農學校	— —	△ 1 1 × 1	2 —	— —	— —	1 —	3 —	6 — △ 1 × 1	— —	△ 2 — × △ 1	— —	6 — △ 3 × 1 × △ 1	— —	6 — △ 3 × 1 × △ 1	
茨城縣立鹿島農學校	— —	× 1 —	4 —	— —	— —	4 1 × △ 1	— —	8 — × 1 × △ 1	— —	△ 2 —	— —	8 — △ 2 × 1 × △ 1	— —	8 — △ 2 × 1 × △ 1	
茨城縣立大子農學校	— —	— —	5 —	— —	— —	2 1 × 1	— —	7 — × 1	— —	× △ 1 —	— —	7 — × 1 × △ 1	— —	7 — × 1 × △ 1	
茨城縣立笠間農學校	— —	1 —	2 —	— —	— —	1 1 × 1	2 2	6 — × 1	2 1	× △ 1 × △ 1	— —	7 — × 1 × △ 1	2 1 × △ 1	9 — × 1 × △ 2	
茨城縣立取手園藝學校	— —	— —	7 1 × 1	— —	— —	1 —	1 —	9 — × 1	— —	△ 2 —	— —	9 — △ 2 × 1	— —	9 — △ 2 × 1	
茨城縣小瀬農學校	— —	— —	3 —	— —	— —	2 —	1 —	6 —	— —	1 △ 1	— —	6 — △ 1	1 —	7 — △ 1	

學 校 名	有 資 格 教 員										無 資 格 教 員		總 計		計			
	學位ヲ 有スル 者	大又ハ 博士コ ル者	農工 學士ノ 得ル者	文部大 臣指定 タル者	文部大 臣認可 タル者	高等學 校高等 科教員 免許者	高等學 校高等 科教員 免許者	中等學 校中等 科教員 免許者	實業學 校實業 科教員 免許者	計	公立實 業學校 資格ニ 關スル 他ニ依 ル者	其 他						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
農業學校合計	—	—	7 △1 ×3	—	48 △1 ×4 ×△2	—	—	—	21 △1 ×2 ×△1	2 △13 1	—	90 △4 ×9 ×△4	2	1	1 ×△11 ×△11	92 △15 ×9 ×△15	95 △15 ×9 ×△16	
茨城縣立 水戸商業學校	—	—	5	—	6 ×1	—	—	—	14	—	1	26 ×1	—	—	△1	26 △1 ×1	26 ×1	
茨城縣立 下館商業學校	—	—	1	—	8 ×1	—	—	—	7	—	—	16 ×1	—	—	×△2	16 ×1 ×△2	16 ×1 ×△2	
茨城縣立 古河商業學校	—	—	2	—	3 ×1	—	—	—	5	—	—	10 ×1	—	—	△2 ×△1	10 △2 ×1 ×△2	10 △2 ×1 ×△2	
茨城縣立 湊商業學校	—	—	4	—	—	—	—	—	5 ×1	—	1	10 ×1	—	—	△4 ×△1	10 △4 ×1 ×△1	10 △4 ×1 ×△1	
商業學校合計	—	—	12	—	17 ×3	—	—	—	31 ×1	—	2	62 ×4	—	—	△7 ×△4	62 △7 ×4 ×△4	62 △7 ×4 ×△4	
久慈郡大子女子 技藝學校	—	—	—	—	1	—	—	—	2	—	—	1	2	—	×△1	1 ×△1	3 ×△1	
行方郡潮來町 立女子技藝學校	—	—	—	—	—	—	—	—	×△1 △1	2 1	—	×△1 △1	2 1	—	—	1 ×△1	3 △1 ×△1	
私立助川高等 家政女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	1	2	—	△1	1 △1	4 △1	
職業學校合計	—	—	—	—	1	—	—	—	1 ×△1	6 △1	—	2 ×△1	6 △1	—	—	△1 ×△1	2 ×△2	10 △2 ×△2

×印ハ兼務者、△印ハ講師

工業學校ハ縣立一校ニシテ其ノ設備ニ就テハ逐年改善ヲ加ヘ器具器械標本等ノ充實ニ努メツ、アルヲ以テ完備ノ域ニ達シツ、アリ、教員ノ需要供給ニ關シテハ常ニ意ヲ用ヒツ、アルヲ以テ有資格教員多ク隨テ異動者モ少ク且圓滑ニ運ビツ、アリ待遇ニ關シテモ亦良好ナリ

生徒訓育ニ就テハ全職員一致協力從來ノ方針ニ依リ工業家ニ適切ナル品性ノ養成ニ努メ特ニ思想ノ善導ニ力ヲ盡シタリ生徒學業ニ關シテハ智德ノ練成ト身體ノ鍛練トニ相俟テ漸次向上シ本年度時々行ヒタル考査ト平素ノ成績トヲ綜合シタル結果ハ次表ノ如シ

考 査 生 徒 數	及 第 者 總 數	及 第 生 徒 百 分 率	本 科 總 平 均 点
387	378	97.67	74.20

修學旅行及實習ニ關シテハ工業界ノ趨勢ニ鑑ミ智識ノ開發ヲ圖ル爲專ラ實務ノ練習ニ力ヲ致シ應用化學科ニ在リテハ理化實驗、電氣化學、釀造業、分析實習、應用化學實習ヲナシ機械科ニ於テハ木形鑄物、鍛工仕上ノ實習原動機ニ關スル實驗ヲナシ實際的技能ノ發達ニ努メ生徒各自モ又趣味ヲ以テ種々研究シ各自隨意ノ作品ヲ製作セシメ賞讃スル値アルモノ多シ又關西關東各地ニ旅行シ會社、工場等ニ作業及設備ノ狀況ヲ實地ニ觀察シ工業上ノ實際的智識ノ收得ニ努メタリ

本年度募集人員ハ各科四十人ナリシガ入學志願者三百八十三人ニ達シ選抜考査ノ結果應用化學科四十人機械科四十四人ノ入學ヲ許可シタリ

卒業者ノ就職ニ關シテハ學校長職員ハ機會アル毎ニ管内外ニ出張シ各官衙會社工場等ヲ訪問シ地方産業ノ狀況ヲ觀察シ又卒業生勤務ノ狀況ヲ聽取シ教授ノ參考ニ資スルト同時ニ本校内容ヲ紹介シ新卒業生ノ採用方ヲ依頼スル方針ヲ執リツ、アルヲ以テ各種會社工場等ニ就職シツ、アリ

實業界トノ關係ハ地方當業者ト連絡ヲ保チテ鑑定並ニ分析質疑ノ外各種ノ製作注文等ニモ應シ斯業助長ニ多大ナル效果ヲ與ヘタルモノト認ム

農業學校ハ縣立九校組合立一校ニシテ其ノ設備ニ就テハ年々充實ニ努メツ、アルヲ以テ内容外觀共漸次改善セラレ完備ノ域ニ達シツ、アリ

教員ノ需要供給ニ關シテハ各校共異動者少ク且異動アル毎ニ極メテ圓滑ニ有資格教員ヲ任用シツ、アリ待遇方法ニ於テモ亦良好ナリ

生徒訓育ニ就テハ各校共從來ノ方針ニ則リ地方ニ適應スル實際農業者トシテノ人格的陶冶ニ努メ國民精神ノ涵養、自治的精神ノ啓發ニ力ヲ致シ穩健着實ニシテ實觀念任ヲ重ンジ勤勞奉公ノ精神ヲ發養シ常ニ生徒ノ個性ヲ捉ヘ家庭トノ連絡ヲ密接ニシ適切ナル教養ヲナシツ、アリ

生徒學業ニ就テハ學科實習共ニ平素ノ勤惰並ニ成績ノ良否ニ留意シ常ニ周到ナル教授ト督勵ニ努メ尙成績不良ナル生徒ニ對シテハ特ニ父兄ニ其ノ成績ヲ通知シ家庭ト相俟テ成績ノ向上ヲ計リツ、アリ

修學旅行ニ關シテハ各地ニ於ケル優良學校、農場、農事試驗場、其ノ他農業ニ關スル各種ノ場所ヲ實地ニ見學セシメ觀察力、理解力ヲ養成シ見聞ヲ廣カラシメ智育德育體育ノ發達ト相俟テ一層農業智識ト趣味ノ涵養ニ努メツ、アルヲ以テ其ノ效果良好ナリ

入學志願者ハ縣立組合立ヲ通ジ千五百十二人ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ千六十二人之ガ入學率七十人強ナリ

卒業者ノ就職狀況ハ大部分實業従事者ニシテ上級學校ニ入學スル者官吏公吏等之ニ亞ゲリ實業界トノ連絡ニ就テハ努メテ學校ヲ開放シ卒業生ヲ督勵シ農業者ノ參觀ヲ爲サシメ可及的研究ニ資セシメ質疑ニ答ヒ又ハ農事相談、各種農產物品評會ヲ開催シ

農場視察種子種苗ノ分譲等ヲナスヲ以テ逐年來校者増加ノ傾向ニアリ又各地ニ教員ヲ出張セシメ農業蠶業ノ狀況ヲ視察セシメ講習、講話會ヲ開催シ講師ノ派遣ヲナス等農業智識ノ普及發達ヲ圖ルコトニ常ニ努メツ、アリ

商業學校ハ縣立四校ニシテ其ノ設備ニ就テハ各校共校舍ヲ設立シテ完備シツ、アルモ圖書器械標本ニ於テハ完備ノ域ニ達セズ年々之ガ充實ニ努メツ、アリ

教員ノ需要供給轉免ニ關シテハ比較的異動者少ク且異動者ヲ生ズル毎ニ有資格教員ノ採用ヲ圓滑ニ運ビツ、アリ待遇方面モ亦良好ナリ

生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ繼承シ商業道德ニ最モ重キヲ置キ之ガ養成ニ努メ正心誠意ヲ旨トシ士魂商才實踐躬行ニ努メ輕躁浮薄ナル行爲ノ矯正ニ努メ常ニ家庭及個性調査ヲナシ徳性ノ涵養ニ努メツ、アリ

生徒學業ニ就テハ常ニ教授法ノ改善ニ留意シ技術的學科ニ就テハ特ニ學科擔任者ニ於テ指導ヲ與ヘツ、アリ又時々學級主任者ニ於テ家庭ヲ訪問シ或ハ必要ニ應シテ父兄ノ來校ヲ求メ其ノ他生徒手牒ヲ利用シ父兄トノ連絡ヲ圖リツ、アリ

修學旅行ニ關シテハ關西、關東、奥羽等各方面ニ旅行シ商業上必要ナル智識技能ヲ收得シ又ハ地理歴史人情風俗ニ關シ研究ヲナシ會社工場大商店等ヲ見學シ實際商業界ノ智見ヲ與ヘル等裨益スル所尠カラズ

生徒實習ニ於テハ學科ノ教授ト連絡統一ヲ圖リ生徒ヲシテ自發的奮勵ニ依リ研究的態度ヲ以テ作業ニ從事スル習慣ノ養成ニ努メツ、アリ

入學志願者ハ六百七十九人ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ三百六十六人ナリ之ガ入學率ハ五十四人弱ナリ

卒業者ノ就職狀況ハ大部分實業從事者ニシテ官吏公吏及上級學校ニ入學スル者之ニ次ゲリ尙實業從事者ハ實業界ノ不振ニモ拘ラズ各銀行會社商店等ニ就職スルヲ得タリ

實業界トノ聯絡ニ就テハ常ニ銀行會社大商店方面トノ連絡ヲ保チ特ニ卒業生トノ連絡ヲ密接ニシ文書通信ノ方法ニ依リ在校生ヲ指導鞭撻シ又ハ時々實業界ノ名士ヲ招聘シテ講話ヲ求ムル等實社會トノ聯絡ヲ計リツ、アリ

職業學校ニ屬スル女子技藝學校ハ組合立一校、町立一校、私立一校ニシテ其ノ設備ニ關シテハ銳意完備ニ努力シツ、アリト雖經費ノ關係上器具器械圖書ノ補給的購入ニ止マリ積極的設備ヲ爲スニ至ラズ

教員ノ需要供給ニ關シテハ之ガ向上改善ニ努メ成ヘク有資格者ノ任用ニ努メツ、アルヲ以テ年々向上進歩ノ氣運ニ向ヒツ、アリ

生徒訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ則リ質朴從順ノ美風ヲ助長シ技能ノ發達ニ留意シ地方的實際的女子タラシムル教養ニ意ヲ用ヒ勤勞體驗ヲ重ンズルト共ニ他面ニ於テハ優美ナル情操閑雅ナル舉止ヲ保タシムルコトニ努メツ、アリ

生徒學習指導ニ就テハ各科共參考書器械器具標本等ノ不備ナル感アルモ教員ハ良ク改善工風ヲ加ヘ常ニ熱心ニ教授シ特ニ裁縫手藝ノ如キハ懇切ナル指導ヲナシ亦生徒

モ自學自習ノ念漸ク高マリ其ノ成績向上シツ、アリ

修學旅行ニ關シテハ經濟的緊縮ヲ旨トシ關東各地ニ旅行ヲ試ミ見聞ヲ廣カラシメ智
德ノ研鑽ト共ニ實際的智識ノ涵養ニ資シタリ

入學志願者ハ應募者少キ感アルモ地方的事情已ムヲ得サルモノ、如ク本年度ハ志願
者百五十人ニシテ内百四十三人ヲ入學許可シタリ

卒業者就職狀況ハ何レモ實業従事者ニシテ地方産業ノ發達ニ努力シツ、アリ

實業補習學校

實業補習學校ハ總數四百八十七校ニシテ之ヲ種別スレバ市立五校、町村立四百八十一
校、私立一校ナリ尙之ヲ實業科目ニ區別スレバ工業一校、農業四百四十五校、商業十四校、
水産六校、農業商業十五校、農業水産四校、水産商業二校ナリ之ヲ前年度ニ對比スレバ農
業ニ於テ一校ヲ増シタリ

而シテ市町村立ハ大部分小學校ニ附設セラレ季節制ニ屬スルモノニシテ随ツテ教員
モ小學校教員ヨリ兼務スルモノ多シ、私立ハ日立製作所日立工場内ニ附設セルモノニ
シテ教員モ亦同會社員ナルヲ以テ相當有資格者ヲ任用シ需要供給上何等支障ヲ認メ
ズ公立學校專任教員ハ有資格百七十二人、無資格三人ナリ而シテ教員ノ資格別人員ヲ
示セバ次表ノ如シ

種 別	有 資 格 教 員										無資格教員		總 計			
	規程第一條該當者		規程第二條第一項該當者		規程第二條第二項該當者		規程第二條第三項該當者		規程第二條第四項該當者						其 他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
公立實業補習學校	33				14		18						77		57	
	□ 1				□ 9		□ 21						□ 14		□ 24	
	× 16	30	□ 4		× 661		○ 1						* 1		* 2	
	× □ 1	□ 2	× 86		4 × □ 1,162		× 40	× 31	5	—	—	× □ 7	□ 1	× 794	○ 17	○ 43
	× ○ 1		× □ 52		× △ 10	× □ 233	× □ 8	× □ 4				× □ 2	× □ 1,230	× 40	× △ 9	× △ 1
私立實業補習學校	1												2			
	× 3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	× 3	—	—	
	× ○ 14												× ○ 14	—	—	
														× ○ 9	—	
															× ○ 23	
計	34				15		18						79		57	
	□ 1				□ 9		□ 21						□ 14		□ 24	
	× 19	30	□ 4		× 661		○ 1						* 1		* 2	
	× □ 1	□ 2	× 86		4 × □ 1,162		× 40	× 31	5	—	—	× □ 7	□ 1	× 797	○ 17	○ 43
	× ○ 15		× □ 52		× △ 10	× □ 233	× □ 8	× □ 4				× □ 2	× □ 1,230	× 40	× △ 9	× △ 1

□印ハ助教諭、×印ハ兼務者、△印ハ教諭心得、*印ハ助教諭心得、○印ハ講師

教員ノ需要供給勤續轉免俸給加俸其他待遇上ニ就キ記述スレバ兼任者ニ於テハ小學

校教員ノ異動ニ伴ヒ轉免ノ止ムナキモ專任者ニ於テハ比較的永ク勤續シ俸給ニ於テモ頗ル向上ノ途ヲ講ジ年功加俸ハ六十圓乃至二百一圓ヲ支給シアリ
生徒訓育ニ就キテハ特ニ意ヲ用ヒ青年團、處女會、青年訓練所ト聯絡ヲ保チ其ノ他地方青年トシテ訓育ニ努メ學業ニ於テモ其ノ地ニ適切ナル實業科目ヲ課シ其ノ實績ヲ舉ゲムコトニ努メツ、アリ入學志願者ニ關シテモ補習學校獎勵委員ヲ委囑シ入學出席ノ督勵ヲナシタリ實業界トノ關係ハ常ニ實習地ニ於ケル作物栽培ニ注意シ地方ニ範ヲ示シ部落講演講習ニ教員出席シ實地指導ヲナス等其ノ實績ヲ舉ゲムコトニ努メタリ

實業補習學校教員養成所

農業補習學校教員養成所ハ縣立一校ニシテ大正十一年四月實業補習學校教員養成所令ニ依リ茨城縣立水戸農學校ニ加設セラレ修業年限一ケ年ナリ其ノ設備ノ狀況ハ年々之ガ充實ヲ圖リタル結果稍完備ニ達シツ、アルモ尙農學校分ヲ併用スルモノ少カラズ教員ハ專任者一人ニシテ其ノ他ハ縣立農學校及縣關係職員ヨリ兼務シアリ有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員								無資格教員				總 計														
	學位ヲ有者		大學卒業又ハ學士トシテハハスルコトヲ得ル者		文部大臣ノ指定タル者		文部大臣ノ認可タル者		高等學校高等科免狀ヲ有スル者		師範學校中女學校教員免狀ヲ有スル者			實業學校教員免狀ヲ有スル者		計		其 他									
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女								
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女								
茨城縣立農業補習學校教員養成所																											
—		—		×△ ^I ₂		—		×		△ ^I ₆		—		—		—		×		△ ^I ₂₁		—		×		△ ^I ₂₁	

×印ハ兼務者、△印ハ講師

生徒訓育ニ就キテハ本所所定ノ訓育要綱ニ從ヒ既往ノ經歷及個性ニ留意シ充分長短補ノ實ヲ舉ゲ教育者トシテノ必要ナル素質ノ陶冶ト能力識見ノ養成ニ努メ職業觀念ヲ明確ニシ業務ニ通ジテ生クル信念ヲ與ヘシムルニ努メツ、アルヲ以テ學業ノ成績亦大ニ見ルヘキモノアリ、修學旅行ニ關シテハ關東關西各地ノ優良補習學校農業施設經營ノ實情ヲ視察セシメ實際上ノ智識開發ニ努メタリ

生徒ノ研究實驗實習ニ關シテハ常ニ勤勞ノ慣習ヲ養フヲ緊要ナルヲ以テ諸般ノ作業ヲ實地ニ指導シ之ガ農業ニ關スル教員トシテノ素質養成ニ努メタリ本年度入學志願者ハ二十二二人ニシテ之ガ入學率ハ九十一人弱ヲ示セリ尙入學者父兄ノ職業別ハ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自由業	家 事 使用人	其ノ他 ノ有業 者	無 職 業	計
茨城縣農業補習學校教員養成所	10	—	—	—	2	—	4	1	1	2	20

盲學校及聾啞學校

盲學校ハ縣立一校、私立一校ニシテ聾啞學校ハ縣立一校ナリ其ノ設備ノ狀況ニ就キテハ年々最善ノ努力ヲ拂ヒ教授用器具器械ヲ購入シ尙特殊教育ノ關係上特別教室ノ設置教便物ノ充實ニ努メツ、アルヲ以テ漸次整備ノ域ニ達シツ、アリ

教員ノ需要供給ニ關シテハ特殊教育ナルヲ以テ採用困難ナルモ小學校又ハ中等學校教員中ヨリ適當ナル者ヲ選定シツ、アリ

待遇ニ關シテハ斯種教育ハ教員ノ熟練ト犠牲的精神トヲ最要ノ條件トスルヲ以テ常ニ向上ヲ計リツ、アリ

生徒訓育ニ就テハ個性ノ調査ヲ周密ニシ特ニ盲聾啞者トシテノ通有ナル缺陷ノ矯正ニ努メ一面個性ノ特質ニ應シ個別的指導ニ力ヲ致シ將來有用ナル國民ヲ養成シツ、アリ

學業ニ關シテハ教授法ノ改善ニ留意シ教材ノ研究ヲナシ實物模型或ハ實地ノ動作ニ訴ヘ或ハ觸接模索セシメツ、アルヲ以テ一般ニ良好ナリ

生徒失官原因ヲ區別スレバ次ノ如シ

失官原因	茨城縣盲學校						茨城縣土浦盲學校					
	初等部			中等部			初等部			中等部		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
視神經消耗症	2	1	3	1	1	2	—	—	—	2	—	2
色素性網膜炎	1	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—
角膜實質炎	—	3	3	2	—	2	—	—	—	4	—	4
強度近視	—	1	1	3	—	3	—	—	—	—	—	—
トラホーム	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—
角膜軟化症	3	2	5	1	2	3	—	—	—	—	—	—
麻疹	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外傷	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
膿漏眼	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
先天性	5	4	9	3	2	5	—	—	—	—	—	—
風眼	3	1	4	3	1	4	—	—	—	—	—	—
腦膜炎	2	4	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
角膜潰瘍	—	—	—	2	1	3	—	—	—	2	1	3
白內症	—	—	—	1	2	3	—	—	—	—	—	—
虫眼	—	—	—	3	—	3	—	—	—	—	—	—
計	18	17	35	21	9	30	—	—	—	8	1	9

失官原因	茨 城 縣 聾 啞 學 校					
	初 等 部			中 等 部		
	男	女	計	男	女	計
腦 膜 炎	6	3	9	1	—	1
中 耳 炎	2	5	7	—	—	—
麻 疹	2	—	2	—	—	—
先 天 性	28	16	44	6	2	8
未 詳	—	6	6	—	—	—
計	38	30	68	7	2	9

生徒卒業後ノ狀況ニ關シテハ盲學校ニ在リテハ何レモ鍼灸按摩マツサージ業ヲ開業シ
聾啞學校ニ在リテハ其ノ多クハ家事手傳ヲナシツ、アリ

各 種 學 校

各種學校ハ總數四十校ニシテ何レモ私立ナリ内中學校ニ類スルモノ三校、高等女學校
ニ類スルモノ二校、實業學校ニ類スルモノ二十三校、其ノ他十二校ニシテ之ヲ前年ニ比
スレバ一校ヲ増加シタリ

其ノ設備ニ就キ記スレバ中ニハ設備完全ナルモノアルモ多クハ個人經營ニ係ルヲ以
テ維持困難ニシテ其ノ設備充分ナラザルモノアリ然レドモ相當教員ヲ有シ良ク各校
校則ニ依リ教授法ノ研究ヲナシ教授用具ノ改善充實ニ努メツ、アルヲ以テ漸次成績
向上ノ狀況ニアリ入學志願者モ年々増加シ地方青年處女教導ノ爲裨益スル所多シ

學 校 園 及 植 栽

學校園ハ教育上須要ナルヲ以テ各學校共學園ノ未設置ナルモノナク之ガ整備ヲ期シ
ツ、アリ學林ハ概ネ山間部ノ學校ニ於テ設置シアリ中ニハ廣大ナル面積ヲ有スルモ
ノアリテ其ノ成績良好ナリ而シテ學園學林ハ受持教員指導ノ許ニ生徒兒童ヲシテ直
接植栽手入等ニ當ラシメツ、アルヲ以テ教授上又訓育上ニ效果ヲ及ボスモノ頗ル多
大ナルヲ認ム

教員檢定及免許狀授與

小學校教員ノ檢定試験ハ毎年二回、無試験ハ隨時之ヲ施行セリ而シテ本年度ニ於ケル
檢定總員數ハ男九百五十二人女二百四十一人ナリ内合格者男百四十七人女五十四人
ナリ其ノ他師範學校卒業ニ依ルモノ男百四十四人女八十六人ニシテ免許狀授與總人
員ハ男二百九十一人女百四十人ニ達セリ

教 科 用 圖 書

本年度ニ於ケル教科用圖書ノ需要供給ニ關スル狀況ハ概ネ成績良好ナリ

圖 書 館

圖書館ハ公立五十五館私立三十九館計九十四館ニシテ前年ニ比シ二館ヲ増シタリ而シテ其ノ設備ノ狀況ハ漸次諸般ノ設備ニ改善ヲ加ヘ發達ヲ圖リツ、アリト雖閱覽人員ノ激增ニ伴ヒ狹隘ヲ告ゲ適切ナル設備ヲ施ス能ハズ其ノ他ノ圖書館ニ在リテモ概シテ完全ナリト言フヲ得ズ圖書冊數ハ十六萬七千二百七十八冊閱覽人員三十九萬四千六百三十人ナリ巡回文庫ノ設備ヲナスモノ三館ニシテ他ハ簡易圖書館多ク青年團ノ經營ニ係ルモノ又ハ學校ニ附設セルモノアリ地方改善通俗教育上裨益スル所多シ

常置體育的施設

常置體育的施設ハ縣營運動場一ニシテ昭和八年五月ノ開設ニ係リ陸上競技場、野球場、庭球場ヲ設ク開設以來青年團體大會兒童生徒競技大會一般競技大會等ニ利用セラレ縣内唯一ノ綜合運動場トシテ漸次各方面ニ利用セラル、ニ至リ縣下ノ體育振興上相當ノ效果ヲ收メツ、アリ

教 育 參 考 館

教育參考館ハ大正天皇ノ御即位大禮ヲ記念シ社會教育及學校教育ニ資スル目的ヲ以テ設置シタルモノナリ陳列品ノ總數ハ三千九百十七點ニシテ主ナルモノハ剝製動物標本、植物及礦物標本、織物類、電氣機械、其ノ他機械器具、模型等何レモ理學、工學、歷史ニ關スル參考品其ノ他等ナリ

閱覽人員ハ四萬九千四百六十六人ニシテ一日平均百四十七人弱ニ當ル團體組數ハ百二十五組ナリ其ノ種類別ハ學生生徒兒童最モ多ク各種團體及一般人之ニ次ギ成人及婦人ノ來館者又近來一層増加ノ傾向ニアリ社會教育上裨益スル所多キヲ認ム

教 育 品 展 覽 會

教育品展覽會ハ開會回數三百二十三回開會數六百二日ニシテ父兄懇話會、學藝會其ノ他教育的會合ヲ利用シ同時ニ生徒兒童ノ成績品展覽會ヲ併セ開催スルモノ多ク公衆一般ノ縱覽ニ供シ又家庭トノ連絡及向學心ノ振興ヲ圖リ教育上好影響ヲ及ボス所妙カラズ

常 陽 明 治 記 念 會

常陽明治記念會ハ財團法人ニシテ伯爵田中光顯ノ寄附ニ係リ明治天皇御尊像其ノ

他ノ寶物ヲ基本トシテ寄附行爲ヲ以テ組織セラレ事業ノ大要トシテハ 明治天皇ノ偉業盛德ヲ永久ニ記念感戴シ國民信仰ノ一大標基タラシムベク附屬明治記念館ヲ建設開館シタリ而シテ 明治天皇ノ偉業、盛德ヲ慕ヘテ來館スルモノ多ク昭和九年度ニ於テハ四萬百三十六人ヲ數ヘタリ

青 年 團

青年團ニ就キテハ時代ノ進展ト青年ノ自覺トニ依リ各市町村トモ之ヲ設置シ男青年團ハ三百八十團ニシテ各町村聯合シテ郡青年團ヲ組織シ更ニ縣青年團ニ統一セラレ會員五萬四千九百九十三人ヲ有ス之ガ教養指導ニ就キテハ社會教育主事專ラ之ニ當リ内務文部兩大臣ノ訓令ニ基キ時運ニ稽ヘ又地方ノ實際ニ徴シ夫々適切ナル施設ヲナシ殊ニ體育ノ獎勵ト思想ノ善導トニ就キテハ青年大會、體育指導者講習會、青年幹部講習會ヲ開催シ身體ノ鍛練ト精神ノ修養ニ資スル所大ナリ郡市及町村青年團ニ於テモ學校職員青年團幹部地方有志等各種修養施設ヲナシ其ノ主ナルモノハ辯論會、講演會、講話會、中堅青年講習會、圖書館ノ開設、會報ノ發行、道路改修、勤儉貯蓄ノ實行、補習教育、青年訓練所ノ就學獎勵等心身ノ修養鍛練社會奉仕ノ爲殆ト其ノ擧ヲ一ニシツ、アリ女子青年團ニ於テモ團數三百八十四團體ヲ有シ團員三萬六千九百四十一人ニ達ス縣聯合女子青年團ハ創立日尙淺キ爲男青年團ニ比シ遺憾ノ点ナシト言フヲ得ザレドモ斯道向上ノ爲努力シツ、アルヲ以テ漸次改善セラレツ、アリ其ノ主ナル事業ハ勤儉貯蓄、會報ノ發行、敬老會、風俗習慣ノ改善、裁縫作法割烹等ノ講習會、講演會等ヲ開催シ良好ナル成績ヲ收メツ、アリ

少 年 團

男女少年團ハ何レモ小學校ニ附設セラレ學校兒童ヲ以テ組織ス銳意其ノ本義ノ普及徹底ニ努メツ、アル結果良好ノ域ニ達シツ、アリ次ニ其ノ團體ヲ示セバ

	男	女	計	
			男	女
團 體 數	31	11	128	160
正團員				
十六歳未満	5,674	2,718	24,368	21,896
二十歳未満	68	—	197	22
計	5,742	2,718	24,565	21,918
			30,307	24,636

本 年 度 収 入 總 額					本 年 度 支 出 總 額
市 町 村 費	團 員 離 出 額	寄 附 金	其 ノ 他	計	
円 901	円 598	円 190	円 317	円 2,006	円 1,830

而シテ其ノ主ナル施設ヲ舉グレバ就學獎勵、自習會、講演會、書籍ノ購讀、時ノ宣傳、交通、衛生、火防ノ宣傳、公德事業、軍事的訓練、交通整理、道路ノ改修等ナリ

茨城縣精神作興聯合會

茨城縣精神作興聯合會ハ國體觀念ヲ明徴ニシ國民精神ノ作興ヲ期スルト共ニ經濟生活ノ改善ヲ圖リ國力ヲ培養スルコトノ二大眼目ヲ標榜シ極力之ガ徹底ヲ期スベク文部省ノ高調セル教化動員ノ趣旨ニ基キ昭和四年九月二十四日茨城縣立水戸高等女學校ニ於テ創立ヲ見タルモノナリ

本會ハ各郡市教化團體ニヨリテ組織セラレ其ノ事業ノ主ナルモノヲ舉グレバ左ノ如シ

- 一精神作興並生活改善ニ關スル協議會ノ開催
- 一精神作興並生活改善ニ關スル講演會講習會ノ開催
- 一講師ノ派遣及幹旋
- 一精神作興並生活改善ニ關スル調査研究及印刷物ノ發行
- 一精神作興並生活改善ニ關スル映畫及展覽會等ノ開催
- 一論文標語等ノ募集
- 一篤功者及優良團體ノ表彰
- 一其ノ他本會ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル事業

民衆娛樂並生活改善

時運ノ進歩ト社會文化ノ發達スルニ伴ヒ民衆生活ノ復雜化ヲ來シ健全ナル娛樂ノ切實ナル要求ト生活ノ改善ヲ緊要トスルニ至レルヲ以テ之ガ對應策トシテ映畫觀賞會音樂會各種演藝會ヲ開催シ一方ニ於テ時間尊重時刻ノ勵行冠婚葬祭等ノ陋習打破住宅改善食料問題衣服ノ改善等ニ關スル施設ヲナシツ、アリテ其ノ效果尠カラザルモノト認ム

成人教育

昭和十年二月文部省及縣共同主催ノ下ニ笠間町、助川町、鉾田町、下妻町、古河町ノ五ヶ所ニ成人教育講座ヲ開設ス之ガ講習修了者一千百人ヲ算シ地方中堅人物ノ素養ヲ高メ相當ノ效果ヲ舉ゲタリ

教育會

縣教育會ハ社團法人ニシテ縣下各郡市教育會ヨリ成リ其ノ事業ノ主ナルモノハ教員

ノ養成、講習會、教育講演會ノ開催、視察員ノ派遣、夜間中學ノ經營、教育上ニ於ケル諸問題ノ研究、教科書ノ調査編集、機關雜誌兒童讀本ノ發行又ハ名士ヲ聘シ通俗講話會及夏期大學ヲ開催スル等一般教職員ノ研究修養ニ資スルト共ニ小學校及補習教育上裨益スル所頗ル多シ

本年度ニ於テ教員保姆講習會ノ開催ハ次表ノ如シ

名 稱	主 催 者	講習員ノ資格	講 習 科 目	講 師 數	講 習 日 數	講 習 人 員	講 習 證 書 授 與 人 員
改定國語讀本講習會	茨城縣教育會	小學校教員	國 語 科	1	2	245	—
改定小學修身講習會	全	全	修 身 科	1	2	352	—
夏期大學	全	中小學校教員	水 戸 學	1	3	635	—
夏期講習會	茨城縣教育會 東京立正大學	全	地 歴 科	3	3	158	—
小學校本科正教員養成講習會	茨城縣教育會	小學校教員 教員希望者	教 育 科	2	6	290	284
全	全	全	音 樂 科	4	6	132	128
硬筆書方講習會	全	小學校教員	書 方 科	1	1	83	—
全	全	全	全	1	1	62	—
全	全	全	全	1	1	35	—
改定國語讀本講習會	全	全	國 語 科	1	2	283	—
小學校本科正教員養成講習會	全	小學校教員 教員希望者	教 育 科	2	6	206	204
全	全	全	音 樂 科	4	6	88	81
國史講習會	茨 城 縣	小學校教員	國 史 科	1	1	300	—
算術講習會	全	全	算 術 科	1	1	400	—
思想講習會	全	中小學校教員	思 想 問 題	3	6	1,315	1,217
國民精神文化講習會	全	小學校教員	全	13	28	30	—
計	16	—	16	40	75	4,614	1,914

郡市教育會ハ郡市内教育關係者有志ヲ以テ組織シ經費ハ基本金ノ利子、市町村費ノ補助、會員ノ負擔及寄附金等ヲ以テ維持シツ、アリ其ノ事業ハ就學獎勵、教員ノ養成、講習講話、圖書館ノ施設、雜誌ノ發行、學事研究視察、優良兒童ノ表彰、教育功勞者ノ表彰等ニシテ地方教育上貢獻シツ、アリ

教育ニ關スル法人

教育ニ關スル法人ハ總數十二團體アリ内社團法人ニ係ルモノハ八團體財團法人ニ係ルモノ四團體ナリ尙之ヲ種別スレバ學校ニ屬スルモノ三教育會七其他二團體アリ

青 年 訓 練 所

青年訓練所ハ縣下各市町村ニ設置セラレアリ現在數ハ公立三百九十六所私立二所ナリ而シテ實業補習學校ノ充當ニ就キテハ青年訓練所令ノ本旨ニ稽ヒ之ガ實施ニ當リテハ補習學校ト連携ヲ充分ニ保チ指導員モ補習學校職員ヲ囑託シアリ又私立青年訓練所ハ二所トモ工場ニ設置シアリ訓練生ハ其ノ工場ニ雇傭セルモノヲ收容シ居ルガ爲入所出席共ニ其ノ歩合良好ニシテ訓練ノ實蹟亦優良ナリ訓育ノ狀況ニ就キテハ學科ハ學校職員教練ハ在郷軍人タル指導員之ヲ擔當シ教練ニ關シテハ銃器ヲ購入セル訓練所増加シ其ノ經營ニ關シテハ細心ノ注意ト努力トヲ盡シアリ就中各訓練所ヲ聯合シ演習ヲ催スルモノ行軍、軍事視察、演習參觀其ノ他體育智識ノ發達軍事思想ノ修得ニ努メツ、アリ、出席獎勵ニ就キテハ可成年中持續的ニ訓練ヲ施ス様教育ノ豫定ヲ立案シ農繁期ト雖必ス一週二回ノ召集訓練ヲ實施スル様勸誘シ目下ノ狀況ハ主トシテ學科ハ夜間ニ教練ハ通年的ニ晝間實施シアリ入所及退所ノ狀況ハ良好ナル成績ヲ示シ教練査閲ノ結果ハ其ノ成績亦大ニ良好ナルヲ認メラル

學事ニ關スル講習及旅行

(イ)教員講習ハ縣主催十六回開催シ講習日數七十五日講習員四千六百十四人ニシテ各科共實際的研究ヲナシ孰レモ相當效果ヲ收メタルモノト認ム

(ロ)學校長教員保姆ノ學事研究竝ニ視察ニ關スル旅行ノ狀況ニ就キテハ其ノ教授ノ徹底訓育ノ完全ヲ期スル爲經費ノ許ス限リ努メテ各科教授研究訓育ノ狀況ヲ管内及管外ノ學校ニ出張シ經營施設ノ狀況竝ニ實際等ヲ視察シタルヲ以テ相當其ノ實益ヲ收メ得タルモノト認メラル旅行調次表ノ如シ

		市町村立	公 立	公 立	公立高等	公 立	公立實業	公立農業 補習學校 教員養成 所	公 立	公立聾	公 立
		小 學 校	師範學校	中 學 校	女 學 校	實業學校	補習學校		盲 學 校	啞學校	幼稚園
管内 管地 管内	人 日	2,747	25	102	107	116	327	4	3	3	4
	縣 數	14,019	68	289	397	431	1,039	6	7	16	5
	市 費	—	109	1,096	705	1,236	—	11	27	83	—
	町 費	5	—	—	21	—	—	—	—	—	2
	村 費	22,156	—	—	86	—	2,125	—	—	—	6
	旅 費	265	—	—	—	—	26	—	—	—	—
	會 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	教 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	研 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	育 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	修 費	27	—	51	100	—	—	—	—	—	—
	組 費	—	—	—	235	36	—	—	—	—	—
	合 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	證 費	—	—	—	23	—	—	—	—	—	—
	友 費	—	—	—	29	—	—	—	—	—	—
	校 費	—	—	—	36	—	—	—	—	—	—
	計	22,453	157	1,170	1,212	1,272	2,151	11	27	83	8

		市町村立	公 立	公 立	公立高等	公 立	公立實業	公立農業	公立	公立聾	公 立	
		小 學 校	師範學校	中 學 校	女 學 校	實業學校	補習學校	補習學校	補習學校	盲 學 校	啞學校	幼稚園
內 縣	人日	415	5	25	10	16	30	—	1	2	6	
	旅費總額	1,799	44	96	36	97	85	—	3	10	17	
	縣市町教育會費	85	98	292	74	333	—	—	13	76	—	
	村會費	3,174	—	—	26	—	—	—	—	—	—	
	教育會費	1,154	—	—	—	—	253	—	—	—	51	
	保健會費	—	—	—	—	—	29	—	—	—	—	
	修養會費	—	—	12	—	—	—	—	—	—	—	
	組合會費	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	女教育會費	75	—	—	5	—	—	—	—	—	—	
	小學校費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
地 外	人日	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	旅費總額	4,511	98	304	105	333	282	—	13	76	51	
	縣市町教育會費	1,273	30	54	65	48	40	2	3	1	4	
	村會費	11,311	283	489	566	589	362	39	27	8	24	
	教育會費	—	607	2,078	1,648	1,964	—	117	129	14	—	
	保健會費	75	—	—	90	—	—	—	—	—	7	
	修養會費	22,138	—	—	147	—	727	—	—	—	48	
	組合會費	1,649	—	—	—	—	99	—	—	—	—	
	女教育會費	—	—	42	—	—	—	—	13	20	—	
	小學校費	—	—	49	93	—	—	—	—	—	—	
內 縣	人日	196	—	—	120	452	—	—	—	—	—	
	旅費總額	—	—	—	75	—	—	—	—	—	—	
	縣市町教育會費	30	30	2,169	2,173	2,41	826	117	142	34	55	
	村會費	24,088	37	—	—	—	—	—	—	—	—	
	教育會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	保健會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	修養會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	組合會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	女教育會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小學校費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
滿 洲	人日	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
	旅費總額	43	20	—	—	—	—	—	—	—	—	
	縣市町教育會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	村會費	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	教育會費	200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	保健會費	—	25	—	—	—	—	—	—	—	—	
	修養會費	230	25	—	—	—	—	—	—	—	—	
	組合會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	女教育會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小學校費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
滿 洲	人日	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
	旅費總額	—	33	—	—	—	—	—	—	—	—	
	縣市町教育會費	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—	
	村會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	教育會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	保健會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	修養會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	組合會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	女教育會費	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小學校費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
樺 太	人日	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	旅費總額	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	縣市町教育會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	村會費	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	教育會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	保健會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	修養會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	組合會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	女教育會費	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小學校費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
滿 洲	人日	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	旅費總額	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	縣市町教育會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	村會費	131	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	教育會費	200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	保健會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	修養會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	組合會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	女教育會費	331	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小學校費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

	市町村立 小學校	公立 師範學校	公立 中學校	公立高等 女學校	公立 實業學校	公立實業 補習學校	公立農業 補習學校 教員養成 所	公立 盲學校	公立聾 啞學校	公立 幼稚園
人日	4,441	62	181	182	180	397	6	7	6	14
旅費	27,250	448	874	999	1,117	1,486	45	37	34	46
總額	165	864	3,466	2,427	3,533	—	128	169	173	—
縣費	47,645	—	—	137	—	—	—	—	—	9
市費	3,468	—	—	233	—	3,105	—	—	—	105
町費	—	103	—	—	—	154	—	—	—	—
村費	—	—	—	111	—	—	—	—	—	—
教員會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
校友會費	105	—	—	—	—	—	—	—	—	—
教員會費	—	—	93	100	—	—	—	13	20	—
生徒會費	—	—	84	122	—	—	—	—	—	—
後援會費	—	—	—	360	488	—	—	—	—	—
保證會費	226	—	—	—	—	—	—	—	—	—
修養會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
研究會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
保育會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小學校費	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	51,629	967	3,643	3,490	4,021	3,259	128	182	193	114

學 校 衛 生

1、(イ)學校醫ノ設置シアル公私立學校、幼稚園、青年訓練所ニ就キ類別スレバ小學校五百十九校師範學校二校中學校十一校高等女學校十八校實業學校十八校實業補習學校二十四校盲學校二校聾啞學校一校各種學校五校幼稚園六園青年訓練所四十六所ニシテ兼務者多ク之ガ實人員ハ三百五十五人學校齒科醫ノ設置シアル公私立學校、幼稚園、青年訓練所ニ就キ類別スレバ小學校八十校師範學校二校中學校十一校高等女學校十二校實業學校十五校實業補習學校一校盲學校一校聾啞學校一校各種學校一校幼稚園四園青年訓練所一所ニシテ之ガ實人員ハ百十四人ナリ而シテ學校視察ノ狀況ハ定期検査ノ外「トラホーム」診療治療寄生虫及頭虱ノ驅除口腔衛生ノ實施ニ盡力スルト同時ニ時々一般衛生ニ關スル講演會等ヲ開催シツ、アルヲ以テ年々成績ノ向上ヲ示シツ、アリ尙飲料水、寄宿舎等ニ就キテハ特ニ注意シ専ラ生徒ノ保健ニ努メツ、アリ就中中等學校ニ於テハ比較的衛生設備シ居ルモ其ノ他ニ於テハ尙充分ト認メ得ザルヲ以テ一層之ガ改善進歩ニ努メントス

學校醫ノ實人員ヲ資格別ニ區別スレバ次ノ如シ

一、帝國大學醫科大學醫學科卒業者	二 四 人
二、官立醫學專門學校醫科及元高等學校並高等中學校醫學部選科卒業者	七 人
三、元東京大學醫學部本科又ハ別科卒業者	一 三 九 人
四、大阪府京都府愛知縣醫學校及府縣立甲種醫學校卒業者	二 三 人
五、東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科修了者	四 人
六、其ノ他醫術開業免狀ヲ有スル者	一 五 八 人
計	三 五 五 人

(ロ)學校看護婦ハ學校衛生上並ニ兒童生徒ノ健康上必要ヲ生ジ現在學校看護婦ヲ置

ク學校一五校看護婦十五人手當五千七百九十五圓ヲ支給シ衛生保健上效果多シ

2、衛生設備教授衛生體育運動ニ關スル狀況

(イ)衛生設備ニ就キテハ先ツ校地ノ選定及校舍ノ建築等ニ校醫ト協調ヲ遂ゲ其ノ他屋外體操場、便所、水呑所、井戸、寄宿舍、教授用器具器械等ノ改善ニ留意シツ、アリ

(ロ)教授衛生トシテハ通學最遠里程及方法學級人員授業時間後ノ休息睡眠時間等ニ留意シ尙毎學期一回以上座席交換最前列兒童ト教壇トノ距離机ノ配列机腰掛ノ位置釣合季節的時間割ノ變化劣等兒教育病的兒童ノ取扱等ニ對シ學校醫ト協力シ努メツ、アリ

(ハ)體育運動ノ振興ニ關シテハ逐年其ノ氣運ハ向上セラレ女子中等學校體育聯盟及指導者體育聯盟等ヲ組織シ最近男子中等學校ニ於テモ之レガ實現化セラレムトシアリ相當運動獎勵ニ努メ各校共運動デーヲ設ケ運動會開催多數校聯合シ試合及運動會ヲ開催スル等相當效果ヲ收メツ、アリ

3、職員生徒兒童ノ健康狀態ニ關スル狀況

(イ)職員疾病ニ依リ退職休職死亡者ハ次ノ通りニシテ概シテ少ク良好ナル成績ヲ舉ゲツ、アリ

	退 職 者	休 職 者	死 亡 者
小學校教員	6	44	28
補習學校職員 (專任者)	4	1	1
中等學校職員	1	—	4
計	11	45	33

(ロ)生徒兒童ノ健康狀態ノ優良ナラザルモノハ其ノ主ナル病類別ヲ見ルニ齲齒、トラホーム、寄生虫、扁桃腺肥大、脊柱後彎等ニシテ校醫モ之ガ豫防及加療ニ付テハ相當盡力セラレツ、アリ

4、發病豫防及治療施行ノ狀況

學校職員生徒兒童ニ於テ身體ニ異狀アル者ニ對シテハ直ニ校醫ノ診療ヲ求メ其ノ病狀ニ依リ入院又ハ歸宅治療ヲ命スル等萬遺憾ナキヲ期シツ、アリ

5、學校給食ニ關シテハ貧困兒童ニ辨當若クハ副食物ヲ給シ又ハ短期間ニ於テ牛乳等ヲ給與スル學校モアリ

縣 會 及 市 町 村 會

縣市町村ニ於ケル學事ニ關スル議事ノ狀況ハ慎重ニ審議セラレ近時經濟界ノ不況ニ伴ヒ極度ノ緊縮ヲ迫ラレツ、アル今日ニ於テモ克ク協賛ヲ與ヘ他ノ事項ノ如ク漫リニ削減スルコト無ク穩當ノ決議ヲナシツ、アリ

學事關係職員及學事視察

本縣學事關係職員ハ書記官一人地方事務官一人地方視學官一人學校衛生技師一人社會教育主事一人體育運動主事一人視學七人屬九人社會教育主事補二人實業教育主事一人實業教育主事補一人雇六人市ニアリテハ書記二人ナリ

本年度學事視察ハ視學官師範學校長視學ハ専ラ學校ノ設備教授訓練養護ノ良否並教育事務ノ整否ヲ社會教育主事及社會教育主事補ハ専ラ青年訓練所、青年團、女子青年團等ノ經營施設ノ狀況ヲ視察シ實業教育主事及實業教育主事補ハ補習學校ニ關シ學校衛生技師ハ専ラ學校衛生ニ關スル視察ヲナセリ而シテ小學校ニ就キテハ詳密視察概要視察ノ外教授ニ亘リ視學ヲシテ徹底的ニ視察ヲナサシメタリ又市町村ニ於テハ三人乃至二十人ノ學務委員ヲ置キ夫々區内ノ教育事務ニ關シテハ勿論市町村長ヲ補佐シ機會アル毎ニ學校ニ臨席シ諸般ノ設備其ノ他ニ關シ委員會ヲ開キ就學出席ノ督勵ニ努メ相當活動ヲナシツ、アリ

本年度學事關係職員並師範學校長學事視察ノ狀況ハ次表ノ如シ

	長知	官事	學部	務長	視學官		地事務官		視學				體主	育事	實業補習教育		學校衛生技師		師範學校長		計					
					回數	日數	回數	日數	回數	日數	回數	日數			回數	日數	回數	日數	回數	日數	回數	日數	回延數	實數	回延數	實數
小學校	—	—	9	7	10	12	5	6	382	725	—	—	38	38	4	5	20	31	25	33	891	493	864	857		
師範學校	1	1	1	1	3	3	1	1	2	2	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	11	10	10	10		
中學校	1	1	5	4	14	16	9	10	20	16	—	—	1	1	—	—	3	3	—	—	57	53	51	51		
高等女學校	1	1	6	6	13	13	6	5	15	17	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	43	43	46	44		
實業學校	1	1	4	4	14	15	13	14	21	22	—	—	3	3	4	6	1	1	—	—	68	61	67	66		
實業補習學校	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35	48	—	—	—	—	62	36	49	49		
實業補習學校 教員養成所	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	5	5	1	1	—	—	8	8	8	8		
盲學校	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	2		
聾啞學校	—	—	—	—	1	1	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	2		
各種學校	—	—	1	1	1	1	2	2	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	7	7	7		
幼稚園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
合計	{	延數	4	4	31	25	62	64	39	40	819	792	—	—	43	43	79	64	35	40	39	34	1,151	—	1,106	—
		實數	4	4	28	25	57	62	57	39	444	786	—	—	43	43	48	64	29	40	25	33	—	715	—	1,096

學 事 獎 勵

學事獎勵ニ關シテハ從來ノ施設ヲ繼承シ本年度ニ於テハ實業學校實科高等女學校、男

女青年團、實業補習學校、青年訓練所、私立學校、教育會等ニ對シ補助金ヲ交付シ教育功勞者及優良學校ノ表彰ヲ行ヒ貧困兒童ノ爲就學シ得ザル兒童ノ保護救済上補助金ヲ交付シ其ノ他普通教育獎勵、學校衛生、體育獎勵等銳意教育ノ普及振興ニ努メタリ

將來學事施設上須要ノ件

- (イ)學校ノ設備改善並内容ノ充實ヲ圖ルコト
- (ロ)就學事務ヲ改善シ貧困兒童ノ保護救済ヲ全ウシ以テ義務教育ノ徹底ヲ期スルコト
- (ハ)時代ノ趨勢ニ鑑ミ人格教育ノ徹底ト國家觀念ノ涵養ニ努ムルコト
- (ニ)高等小學校ニ於テハ實業科、家事科、手工科ノ設備ヲ完成シ學科擔任ノ制ヲ加味シ内容ノ改善充實ヲ期スルコト
- (ホ)師範教育ノ改善並設備内容ノ充實ヲ期スルコト
- (ヘ)中等教育機關ヲ改善シ教育ノ機會均等ヲ圖ルコト
- (ト)教員ノ實力養成ト資格ノ向上ヲ期シ服務意識ヲ一層旺盛ナラシムルコト

將來社會教育施設上須要ノ件

- (イ)青年學校ノ内容並專任教員其他ノ設備ヲ充實シ大衆男女青年ノ教育ノ徹底ヲ期スルコト
- (ロ)青年學校教員養成機關ヲ整備シ優良教員ノ養成ニ努ムルコト
- (ハ)男女青年團ノ活動ヲ促シ青年團運動ノ振興ヲ圖ルコト
- (ニ)壯年團、婦人會等ノ普及發達ヲ圖ルコト
- (ホ)生徒兒童ノ校外生活訓練ノ徹底ヲ期スルコト
- (ヘ)圖書館ノ擴充ヲ圖ルコト
- (ト)公民教育成人教育ノ徹底ヲ期スルコト
- (チ)映畫教育ノ振興ヲ圖ルコト
- (リ)民衆體育ノ振興ヲ圖ルコト
- (ヌ)各種教化團體ノ活動ヲ促シ教化事業ノ振興ヲ圖ルコト

公學費及公學資産

昭和九年度ニ於ケル公學費總額ハ七百三十七萬四千五百五十九圓ニシテ内縣經濟ニ屬スルモノ百四十三萬五千六百九十三圓、市經濟ニ屬スルモノ二十萬千四百四十七圓、町村經濟ニ屬スルモノ五百七十三萬七千四百十九圓ナリ之ヲ前年度ニ對比スレバ總額ニ於テ四十五萬六千八百六十六圓乃チ〇割六分六厘強ノ増加ヲ示セリ
其ノ増減ヲ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

		公 學 費		支 出 額	
		前 年 度	本 年 度	前 年 度	ニ 比 シ
				増	減
縣		1,277,852	1,435,693	157,841	—
市		198,313	201,447	3,134	—
町	村	5,441,528	5,737,419	295,891	—
合	計	6,917,693	7,374,559	456,866	—

尙種別ニ依リ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

		公 學 費		支 出 額	
		前 年 度	本 年 度	前 年 度	ニ 比 シ
				増	減
小 學 校		4,928,878	5,094,041	165,163	—
師 範 學 校		157,477	153,004	—	4,473
中 學 校		388,104	370,955	—	17,149
高 等 女 學 校		270,049	373,365	103,316	—
實 業 學 校		658,338	747,235	88,897	—
實業補習學校教員養成所		—	8,398	8,398	—
盲 學 校		8,893	11,070	2,177	—
聾 啞 學 校		7,300	7,677	377	—
圖 書 館		11,214	11,050	—	164
教 育 參 考 館		1,480	—	—	1,480
青 年 訓 練 所		151,132	162,817	11,685	—
幼 稚 園		8,456	8,338	—	118
其 他		326,372	426,609	100,237	—
計		6,917,693	7,374,559	456,866	—

而シテ其ノ主ナル事由ハ中學校及其ノ他ノ諸費ニ於テ著シク減少シタルモ小學校、高等女學校、實業學校ニ於テ著シク増加シタルト實業補習學校教員養成所ニ於テ本年度ヨリ開始シタルニ依ル

公學費收入總額ハ三百六十萬五千四百四十四圓ニシテ縣經濟ニ屬スルモノ六十七萬九千二百九十八圓、市經濟ニ屬スルモノ九萬四千四百八十六圓、町村經濟ニ屬スルモノ二百八十三萬千六百六十圓ナリ之ヲ前年度ニ對比スレバ三萬九千四百四十七圓乃チ〇割一分一厘弱ノ増加ヲ示セリ

其ノ増減ヲ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

		公 學 費		收 入 額	
		前 年 度	本 年 度	前 年 度	ニ 比 シ
				増	減
縣		670,893	679,298	8,405	—

		公 學 費 收 入 額			
		前 年 度	本 年 度	比 較	
				増	減
市		89,223 ^円	94,486 ^円	5,263 ^円	—
町	村	2,806,181	2,831,660	25,479	—
合	計	3,566,297	3,605,444	39,147	—

學校基本財産ハ現金預金及有價證券ニ於テ總額百三十二萬二千七百四十八圓ニシテ
 内縣ハ三十一萬七千六百八十圓、市ハ三萬四千三百十三圓、町村ハ九十七萬七百五十五
 圓ナリ、土地ハ總坪數二百十萬千七百四十七坪ニシテ其ノ價額ハ五十七萬九千百十六
 圓ナリ、建物ハ三十八坪ニシテ價額六百八十五圓ナリ積立金ハ十三萬千九百十七圓ア
 リ之ヲ前年度ニ對比スレバ現金預金有價證券ニ於テ九千七百七十圓、土地ニ於テ七萬八
 千七百九十七坪價額二萬五千三百七十八圓、積立金ニ於テ五千四百八十六圓ノ増加ヲ
 示セリ而シテ之等金額ノ管理ニ就テハ確實ナル銀行預金最多ク有價證券郵便貯金之
 ニ次ギ何レモ適當ナル方法ニ依リ利殖ヲ圖リ又土地中田畑ハ貸付シ森林原野ハ植樹
 ノ方法ヲ講ズル等收益ノ増加ニ努メツ、アリ

教育資金

本年度ニ於ケル貸付金額ハ一萬八千六百六十四圓ニシテ戻入額ハ一萬五千四百九十
 一圓八錢ナリ教育獎勵普及改善ノ爲支出シタル普通教育獎勵金ハ五千三百二十六
 圓十八錢ニシテ小學校教員疾病療治料ハ千六百圓支給人員十一人ナリ本年度内ニ
 資金ヨリ生ズル收入ハ七千七百九十六圓九十二錢ナリ而シテ本年度末現在貸付金
 額ハ八萬千三百五十一圓八錢ナリ

兒童就學獎勵資金

大正十三年 御下賜アラセラルタル資金二萬三千八百六十三圓ヲ蓄積シ之ヨリ生
 ズル收入及國庫交付金ヲ以テ兒童就學獎勵施設ヲナシタル市町村及貧困兒童救濟
 施設ヲナシタル市町村ニ對シ本年度ニ於テハ三萬二千七百二十四圓七錢ヲ補助シ
 施設ノ普及發達ニ努メタリ

男女青年團體事業獎勵資金

大正十四年 御下賜アラセラルタル資金一萬八千圓ヲ蓄積シ之ヨリ生ズル收入及
 縣費支出雜收入ヲ以テ本年度ニ獎勵金千五百三十一圓三十一錢其ノ他公益團體ニ
 對スル補助金二千四百五十圓ヲ支出シ男女青年團體各種事業ノ指導獎勵ニ努メタ
 リ

市町村立小學校教員加俸資金

市町村立小學校教員加俸資金ハ總額十萬三千八百八十四圓七十錢ニシテ年功加俸
 支給金額ハ九萬九千七百十三圓四十五錢特別加俸支給金額ハ三千三百二十九圓五
 十錢ヲ支出シ差引金額八百四十一圓七十五錢ヲ翌年度ニ繰越シタリ

公立學校職員年功加俸資金

公立學校職員年功加俸資金ハ總額七萬六千八百二十三圓二錢ニシテ加俸支出額ハ

六萬七千六百九十二圓八十八錢國庫納金六百七十九圓九十四錢ヲ支出シタリ而シテ差引差額八千四百五十圓二十錢ヲ翌年度ニ繰越シタリ

教育及學藝ニ關スル資金ノ類

茨城縣獎學資金ヨリ學事獎勵ノ爲本年度ニ於テ師範學校獎勵費八十九圓九十錢、中等學校獎勵費三百五十一圓六錢、織田勸農費百五十二圓、雜費十八圓三十三錢ヲ支出シ縣立各學校優良生徒ヲ表彰シ夫々賞品ヲ授與シタリ本年度末現在高ハ八千三百六十八圓七十五錢八厘ナリ

徳川獎學基金ハ中等學校研究獎勵費二百四十圓小學校研究獎勵費二百四十圓研究物審査費九十圓中等學校教育獎勵費四百七十五圓郷土研究獎勵費二百七十三圓三十四錢雜費八圓二十錢ヲ支出シ中等學校及小學校其ノ他教育ノ研究獎勵ニ充テタリ本年度末現在高ハ三萬七千五百六圓十四錢ナリ

茨城縣體育獎勵基金ハ獎勵費三千百六十圓七十五錢ヲ支出シ斯道獎勵ノ爲努メタリ本年度末現在高ハ一萬九千三百九十一圓九十一錢ナリ

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル交付金

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依リ本年度ニ於テ管内市町村ニ交付セラレタル金額ハ二百四十三萬千八百二十八圓ニシテ其ノ費途中最モ多キハ教員俸給ニ充當シタル金額ニシテ住民ノ負擔輕減之ニ次ギ市町村經濟ヲ緩和シタルコト多大ナリト認ム

之ガ支途ヲ種別スレバ次表ノ如シ

種 別	市	町	村	合 計
教員俸給ニ充當シタル金額	円 50,825	円 541,783	円 1,446,582	円 2,039,193
教員増俸ニ充當シタル金額	—	974	6,409	7,383
教育施設ノ改善ニ充當シタル金額	—	5,848	39,745	75,593
住民負擔ノ輕減ニ充當シタル金額	—	77,596	245,620	323,216
他ノ經費ニ充當シタル金額	—	747	15,696	16,443
合 計	51,828	626,948	1,754,052	2,431,828

公學費及公學資産増減ノ理由

縣本年度支出總額ハ百四十三萬五千六百九十三圓ニシテ前年度ニ比シ十五萬七千八百四十一圓ノ増加ヲ示セリ之ガ主タル原因ハ丙號表五以下ノ一般會計ヨリ特別會計ニ繰入タル金額ト新營費ノ多カリシニ依ル收入總額ハ六十七萬九千二百九十八圓ニシテ前年度ニ比シ八千四百五圓ヲ増加シ其ノ主ナルモノハ國庫補助ノ増額ニ依ル公學資産中土地坪數四千三百四十五坪増シタルハ水戸高女ノ運動場擴張笠間農ノ敷地擴張ヲ主トシ湊商業ノ一部擴張ニ依ル附屬地ノ六千八百六十九坪増シタルハ笠間農ノ改善ニ依ル建物坪數ノ教場三百四坪増シタルハ笠間農ノ新營及盲

學校ノ一部増築ニ依ル其ノ他四百七十七坪減シタルハ師範學校石岡眞壁結城鹿島
大子笠間各農學校取手園藝水戸湊兩商業盲學校等一部増築アリタルモ麻生中學ニ
於テ校舍ノ改善ニ依リ減少シタリ土地價額乃至器具價額ニ於テ六萬九千三百六十
八圓増シタルハ水戸高女ノ敷地買入笠間農ノ土地買入及建物ノ新營ヲ主トシテ自
然増加ニ依ルモノナリ

市本年度支出總額ハ二十萬千四百四十七圓ニシテ前年ニ比シ三千百三十四圓ノ増
加ヲ示セリ其ノ原因ハ學齡兒童ノ自然増加ニ依リ各項共増加ヲ示シタリ收入ハ九
萬四千四百八十六圓ニシテ前年度ニ比シ五千二百六十三圓ヲ増シ其ノ主ナルモノ
ハ國庫補助及授業料ノ増シタルニ依ル公學資産ノ土地坪數建物坪數ハ前年同様ニ
シテ土地價額乃至器具價額ニ於テモ四百四十七圓ノ増加ヲ見タルノミ基本財産タ
ル現金預金ハ本年新ニ蓄積シタル六千四百四十七圓ノ増ヲ示シ有價證券土地ハ前
年同様ナリ積立金ニ於テハ五十三圓ノ増加ヲ示セリ

町村本年度支出總額ハ五百七十三萬七千四百十九圓ニシテ前年ニ比シ二十九萬五
千八百九十一圓ノ増加ヲ示シ其ノ主タルモノハ教員俸給新營費其ノ他ノ諸費ニシ
テ其ノ他ハ何レモ自然増加ニ依ル收入總額ハ二百八十三萬千九十圓ニシテ前年ニ
比シ二萬四千九百九圓ヲ増シ最モ多キハ寄附金及授業料ノ増加ニ依ル公學資産ノ
土地坪數敷地四萬三千十一坪増シタルハ小學校ノ擴張東海高等女學校ノ私立ヨリ
公立ニ變更實業補習學校ノ充實ニ依ル敷地擴張ニシテ附屬地ノ一萬四千二百三十
六坪増シタルハ實業補習學校並ニ高等科ノ實習地擴張ニ依ル建物坪數ハ教場五千
七百三十二坪増シタリ其ノ主ナルモノハ小學校兒童ノ増加ニ依ル建築ト東海高女
ノ公立トナリタルトニ依ル其ノ他千八百九十九坪増シタルモ教場増加ノ事由ト同
ジ土地價額乃至器具價額ニ依ル四十六萬九千六百三十四圓ノ増ハ土地購入ト建物
ノ新營ヲ主トシ他ハ自然増加ニ依ル基本財産タル現金預金ハ一萬九千二百九十九
圓ノ増加ヲ示シタルモ有價證券ハ二萬五千二百四十九圓減少ヲ示セリ土地ハ坪數
ニ於テ七萬八千七百九十七坪ヲ増シ田畑原野ニ於テハ減少シタルモ森林其ノ他ニ
於テ増加シタリ價額ニ於テハ原野ニ於テ減少シタルモ他ハ何レモ増加シタリ建物
ハ坪數價額共前年同様ニシテ積立金ハ五千四百三十三圓ノ増加ヲ示セリ